

2. 新しい水質指標

国土交通省では、河川水質管理において、住民や利水者の河川水質・河川環境に対して多様化するニーズに応えるため、平成17年3月に「今後の河川水質管理の指標について(案)」を発表した。この「河川水質管理の指標」(新しい水質指標)は、住民との協働による測定項目及び河川等管理者による測定項目からなり、平成17年度に全国規模で住民と協働で行う調査を試行し、平成18年より全ての一級河川を対象に本格的に実施している。

さらに、湖沼についても、平成22年3月に「今後の湖沼水質管理の指標について(案)」をとりまとめ、これに基づく調査を実施している。

2. 1 新しい水質指標(河川)

(1)新しい水質指標(河川)とは

新しい水質指標(河川)とは、人と河川のふれあいや生態系への関心など、多様な視点で河川が捉えられるようになってきている現在の状況を鑑み、河川をBODだけでなく多様な視点で評価できるように検討された指標である。評価の視点は、

「人と河川の豊かなふれあいの確保」(水質に関係する分かりやすい指標(ゴミの量、透視度、川底の感触、水の臭い、糞便性大腸菌群数^{注17})により、評価します。

「豊かな生態系の確保」(水生生物の生息・生育・繁殖に関係する指標(呼吸に支障が無いこと、毒性が無いこと、生物が生息していること)により、評価します。

「利用しやすい水質の確保」(上水利用・農業用水・工業用水・水産用水の利用に関係する指標(トリハロメタン生成能、2-MIB、ジオスミン、 $\text{NH}_4\text{-N}$)により評価します。

「下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保」(下流部の富栄養化や閉鎖性水域(ダム・湖沼・湾)の富栄養化への影響に関係する指標(T-N、T-P)により評価します。

の4つにわたり、「下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保」以外の視点

注¹⁷ 平成25年については、糞便性大腸菌群数に関して、一部精度が不十分なものを含む可能性がある。

について評価項目と評価レベルが設定されている注¹⁸。また、4つの視点のうち「人と河川の豊かなふれあいの確保」「豊かな生態系の確保」では、調査の一部は住民と河川管理者との協働により実施している。

新しい水質指標(河川)は、平成17年3月に「今後の河川水質管理の指標について(案)」(国土交通省河川局河川環境課)注¹⁹としてとりまとめられ、これに基づく調査が、平成17年4月よりほぼ全ての一級水系の直轄区間を対象に実施されている。

(2)実施水系・地点数

「人と河川の豊かなふれあいの確保」「豊かな生態系の確保」「利用しやすい水質の確保」の平成25年の調査実施状況を表-25に示す。

「人と河川の豊かなふれあいの確保」「豊かな生態系の確保」では、調査を実施した水系のうち、ほとんどの水系で住民との協働調査を実施している。住民との協働調査を実施している調査地点数は、「人と河川の豊かなふれあいの確保」では202地点(全国308地点のうち)、「豊かな生態系の確保」では187地点(全国265地点のうち)である。

「利用しやすい水質の確保」では、該当する地点が限られるため注²⁰、水系数・地点数ともに「人と河川の豊かなふれあいの確保」や「豊かな生態系の確保」よりも少ないが、全国130地点で実施された。

注¹⁸ 一般的に滞留水域の水質と滞留水域に流入する河川の水質は異なり、現状の知見では下流域への影響を与える河川水質濃度を評価することは困難であることから、「下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保」の視点では、評価項目や評価レベルは定めず、今後の課題としている。

注¹⁹ 平成21年3月に「今後の河川水質管理の指標について(案)」を一部改訂し、平成21年度の調査より適用している。

http://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/kankyo/suishitsukanri/shihyou.pdf

注²⁰ 「利用しやすい水質の確保」は、水道水源としての利用しやすさを評価する指標項目であることから、主に上水道取水がある水域を調査対象範囲としている。

表-25 調査を実施した水系数と地点数

地整局 開発局	水系数	人と河川の豊かな ふれあいの確保		豊かな生態系の確保		利用しやすい 水質の確保	
		水系数	地点数	水系数	地点数	水系数	地点数
北海道	13	13 (12)	30 (18)	13 (12)	25 (17)	6	12
東北	12	7 (6)	11 (9)	4 (4)	8 (7)	5	9
関東	8	8 (5)	56 (25)	8 (5)	46 (23)	4	21
北陸	12	7 (2)	11 (2)	9 (4)	14 (5)	3	6
中部	13	11 (10)	63 (34)	10 (10)	41 (34)	7	14
近畿	10	6 (6)	22 (18)	6 (6)	21 (16)	4	24
中国	13	12 (12)	42 (34)	12 (12)	36 (27)	8	24
四国	8	6 (6)	18 (18)	6 (6)	22 (18)	3	4
九州	20	19 (18)	55 (44)	19 (18)	52 (40)	13	16
全国	109	89 (77)	308 (202)	87 (77)	265 (187)	53	130

()内は、住民と協働して調査を実施した水系数と地点数

(3) 参加者数

住民との協働による測定を実施する「人と河川の豊かなふれあいの確保」の視点による調査では6,998人、「豊かな生態系の確保」の視点による調査では6,726人の住民に参加を得て実施した。どの地方でも子供(15歳以下)の割合が多かった(図-28)。

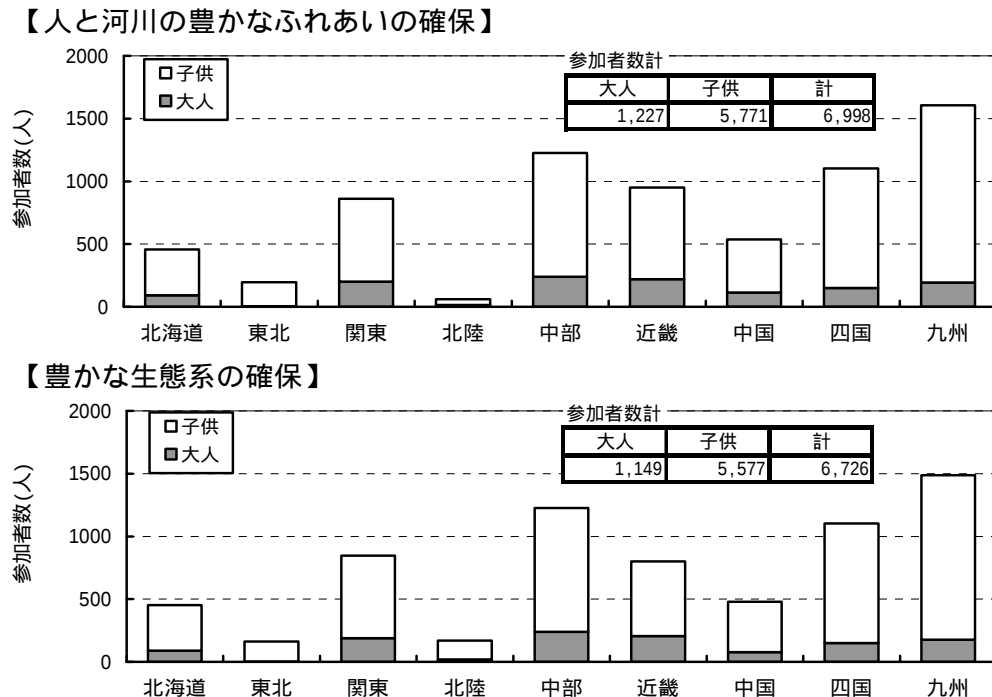


図-28 調査に参加した住民の数(延べ人数)

例えば、1人が2つの地点を調査した場合は、2人として集計している

「人と河川の豊かなふれあいの確保」の調査にあたって住民参加が多かった地点は、下表のとおりである。

表-26 参加者数が特に多かった調査地点

順位	都道府県	河川名(水系名)/調査地点名	参加者数
1	大分県	乙津川(大野川水系)/水辺の楽校	340
2	三重県	雲出川(雲出川水系)/小戸木橋	222
3	愛媛県	重信川(重信川水系)/中川原橋	216
4	大阪府	大和川(大和川水系)/河内橋	198
5	香川県	土器川(土器川水系)/高速道路橋	144

表中の参加者数は、年間通した延べ人数。年間に複数回の調査を実施した調査地点がある。

(4) 調査結果

新しい水質指標(河川)(案)による全国の調査地点の総合評価結果

平成25年に実施した新しい水質指標による調査結果を基に、「人と河川の豊かなふれあいの確保」「豊かな生態系の確保」「利用しやすい水質の確保」の3つの視点ごとに、全国の調査地点の総合的な評価注²¹を行い、年間の総合評価ランクを全国マップ(図-29(1)～図-29(3))に示した。

年間の総合評価ランクが最も高いAランク(青丸)の地点は、表-27に示すように、「人と河川の豊かなふれあいの確保」の視点については約26%(79地点/308地点)、「豊かな生態系の確保」の視点については約52%(138地点/265地点)、「利用しやすい水質の確保」の視点については約68%(89地点/130地点)となった。

一方、年間の総合評価ランクが最も低いDランク(赤丸)の地点は、「人と河川の豊かなふれあいの確保」の視点については約5%(15地点/308地点)、「豊かな生態系の確保」の視点については約4%(10地点/265地点)となった。また、「利用しやすい水質の確保」では評価ランクが最も低いCランク(黄色丸)の地点は、約9%(12地点/130地点)となった。

個別の地点の総合評価結果は、表-28(1)～表-28(7)に示すとおりである。

表-27 新しい水質指標(河川)による年間の総合評価ランク別の地点数

	人と河川の豊かなふれあい		豊かな生態系		利用しやすい水質	
	地点数	割合	地点数	割合	地点数	割合
Aランク	79: (53)	26%	138: (105)	52%	89	68%
Bランク	137: (92)	44%	100: (70)	38%	29	22%
Cランク	77: (46)	25%	17: (8)	6%	12	9%
Dランク	15: (11)	5%	10: (4)	4%		
計	308: (202)	100%	265: (187)	100%	130	100%

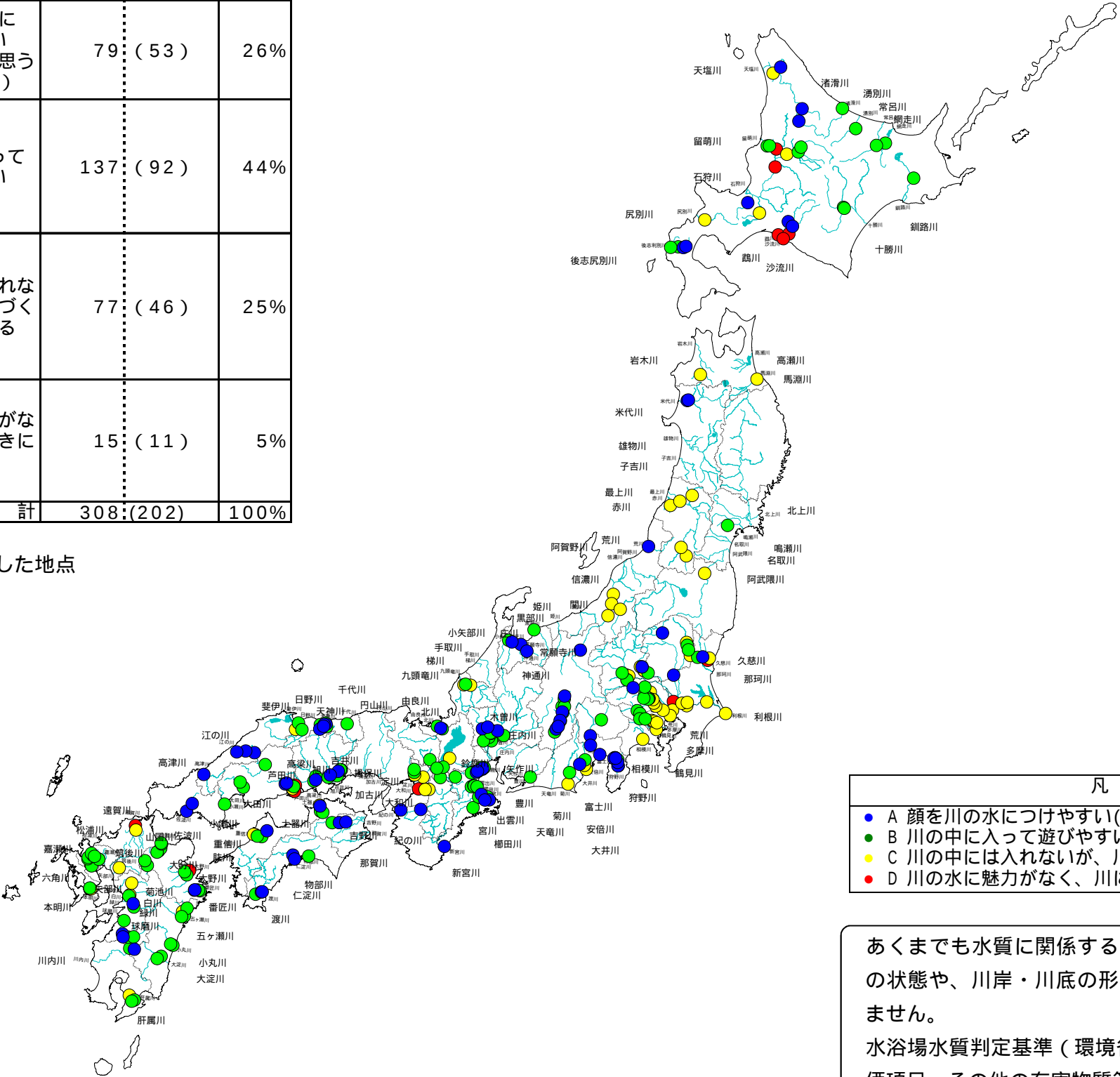
()内は、住民と協働で調査した地点数。四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

注²¹ 評価項目ごとにA～Dランクの4段階(「利用しやすい水質の確保」はA～Cランクの3段階)の評価ランクを決めた上で、まず調査回ごとに最も低い項目別評価ランクを、その地点のその調査時の総合評価ランクとした。次に、1年間の調査時の総合評価ランクのうち、「人と河川の豊かなふれあいの確保」では最頻出のランク、「豊かな生態系の確保」では最低ランク、「利用しやすい水質の確保」では95%値に該当するランクを、その地点の年間の総合評価ランクとした。評価方法の詳細は「今後の河川水質管理の指標について(案)」参照。

平成25年「人と河川の豊かなふれあいの確保」調査結果

凡例	ランク	ランクのイメージ	説明	地点数	割合
	A		顔を川の水につけやすい (泳ぎたいと思うきれいな川)	79 (53)	26%
	B		川の中に入って遊びやすい	137 (92)	44%
	C		川の中には入れないが、川に近づくことができる	77 (46)	25%
	D		川の水に魅力がなく、川に近づきにくい	15 (11)	5%
計				308 (202)	100%

() 内は、住民と協働で調査を実施した地点



- 凡 例
- A 顔を川の水につけやすい(泳ぎたいと思うきれいな川)
 - B 川の中に入って遊びやすい
 - C 川の中には入れないが、川に近づくことができる
 - D 川の水に魅力がなく、川に近づきにくい

あくまでも水質に関する指標により評価した結果であり、流れの状態や、川岸・川底の形状などの安全性については考慮していません。
水浴場水質判定基準（環境省）における油膜の有無やCOD等の評価項目、その他の有害物質等による評価は行っていません。

図-29(1) 平成25年「人と河川の豊かなふれあいの確保」調査結果

平成25年「豊かな生態系の確保」調査結果

凡例	ランク	説明	地点数	割合
●	A	生物の生息・生育・繁殖環境として非常に良好	138 (105)	52%
●	B	生物の生息・生育・繁殖環境として良好	100 (70)	38%
●	C	生物の生息・生育・繁殖環境として良好とは言えない	17 (8)	6%
●	D	生物が生息・生育・繁殖しにくい	10 (4)	4%
計			265 (187)	100%

() 内は、住民と協働で調査を実施した地点

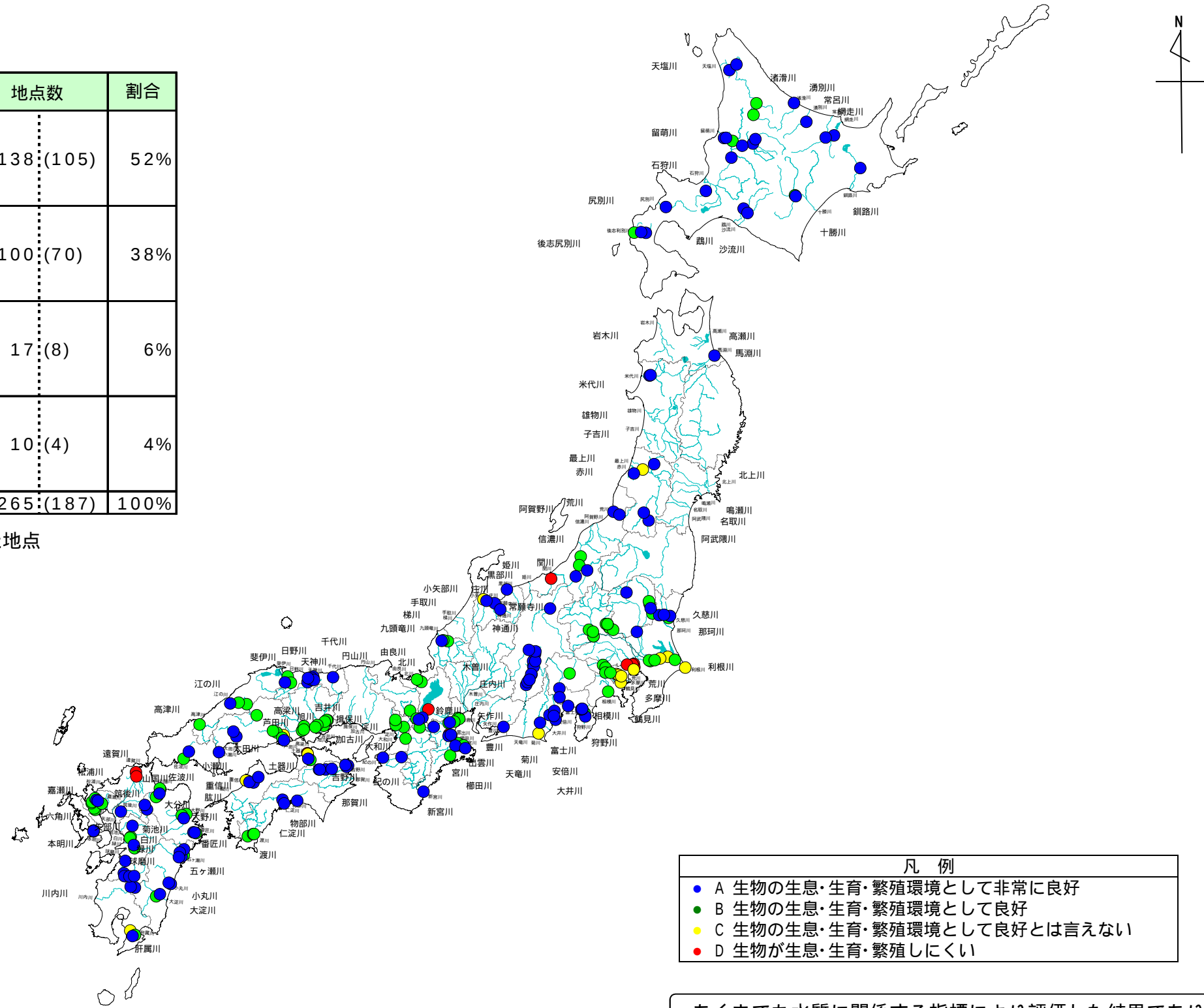


図-29(2) 平成25年「豊かな生態系の確保」調査結果

平成25年「利用しやすい水質の確保」調査結果

凡例	ランク	説明	地点数	割合
	A	より利用しやすい	89	68%
	B	利用しやすい	29	22%
	C	利用するためには高度な処理が必要	12	9%
計			130	100%

四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

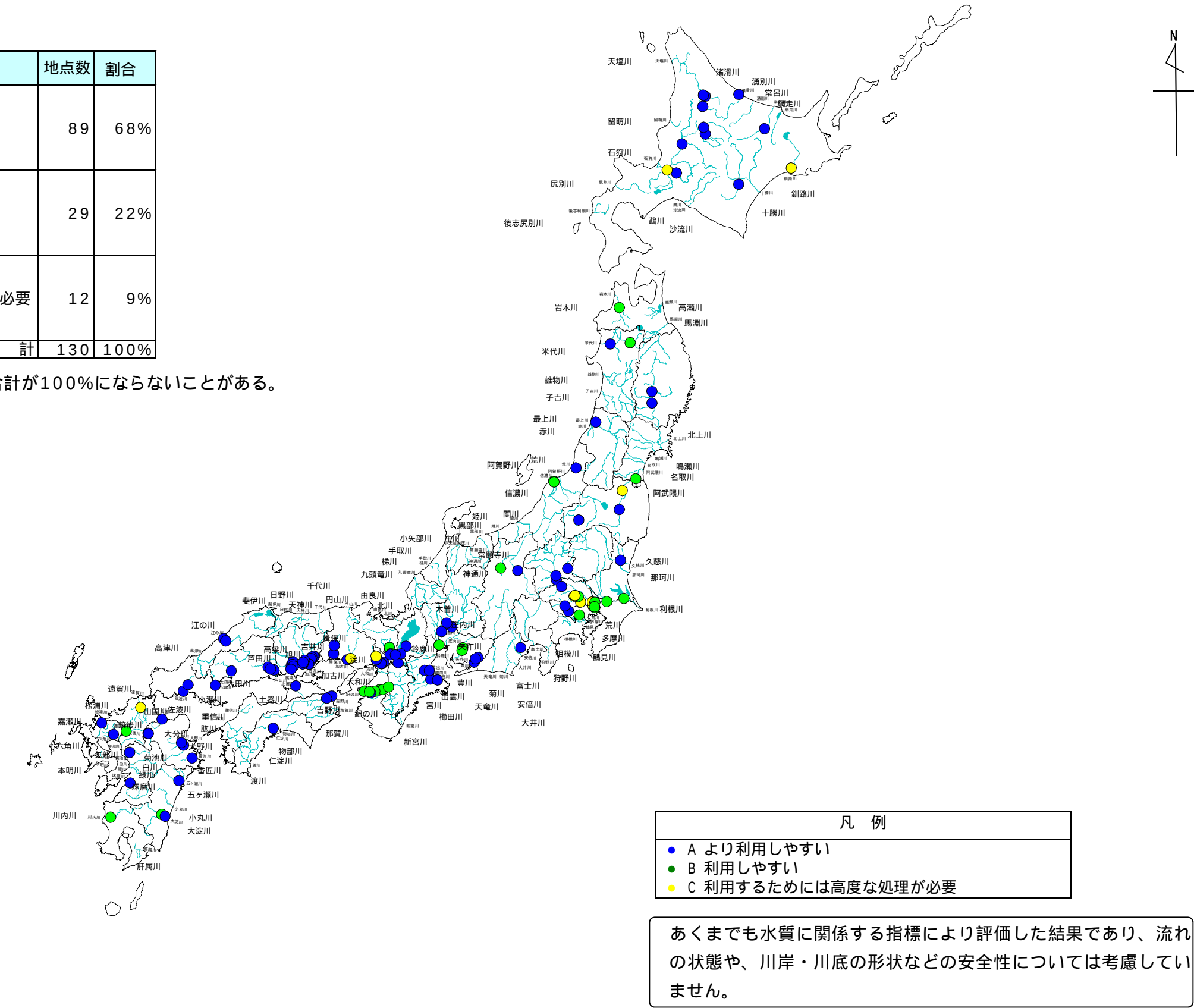


図-29(3) 平成25年「利用しやすい水質の確保」調査結果

表-28(1) 新しい水質指標（河川）による年間の総合評価結果一覧

地整局 開発局	水系名	河川名	地点名	年間の総合評価ランク		
				人と河川の 豊かな ふれあい	豊かな 生態系	利用しやすい 水質
北海道	釧路川	釧路川	標茶水辺の楽校	B	A	-
			愛国浄水場取水口	-	-	C
	後志利別川	後志利別川	花石	A	-	-
			兜野橋（河口）	B	B	-
			今金橋	B	A	-
			住吉	A	A	-
	沙流川	沙流川	沙流川橋	D	-	-
			長知内橋	A	A	-
			平取	D	-	-
	十勝川	札内川	札内橋	B	A	-
			南帯橋	-	-	A
			十勝大橋	B	B	-
	渚滑川	渚滑川	ウツツ橋	B	A	A
	常呂川	常呂川	若松橋	B	A	-
	尻別川	尻別川	豊国橋下流	C	A	-
	石狩川	雨竜川	沼田大橋上流	D	B	-
			中島橋下流	C	-	-
			空知大橋下流	D	A	-
		石狩川	空知大橋	-	-	A
			永山橋	B	A	A
			納内橋上流	C	A	-
		千歳川	新江別橋	-	-	C
		忠別川	神楽岡公園	B	A	-
			東神楽橋	-	-	A
		豊平川	幌平橋下流	A	A	-
		夕張川	馬追橋	-	-	A
	天塩川	天塩川	土別橋上流	A	B	-
			中土別橋	-	-	A
			名寄大橋	-	-	A
			日進橋上流	A	B	-
		名寄川	真勲別頭首工	-	-	A
			問寒別川	A	A	-
			雄信内川	C	A	-
	鶴川	鶴川	穂別橋	A	A	-
			鶴川橋	D	-	-
	網走川	網走川	大正橋	B	A	-
	湧別川	湧別川	遠軽橋	B	A	-
	常呂川	常呂川	金比羅橋	-	-	A
	留萌川	留萌川	橋橋	B	A	-
			幌糠水辺の楽校	B	A	-
東北	阿武隈川	阿武隈川	大神橋	C	-	-
			阿久津	-	-	A
			丸森	-	-	B
			黒岩	-	-	C
	岩木川	岩木川	上岩木橋	C	-	-
			乾橋	-	-	B
	最上川	金山川	水辺の学校	C	A	-
			長井橋下流	C	A	-
			平柳橋下流	C	A	-
		砂越	砂越	-	-	A
			東雲橋	C	C	-
	赤川	赤川	羽黒橋	C	A	-
	馬淵川	馬淵川	水辺の楽校	C	A	-
	米代川	米代川	能代市二ツ井町大林地区	A	A	-
			能代市二ツ井町富根地区	A	A	-
			二ツ井	-	-	A
			十二所	-	-	B
	北上川	胆沢川	再巡橋	-	-	-
			中津川	-	-	-
		磐井川	中の橋	-	-	-
			上の橋	-	-	-
			東大橋	-	-	-
		北上川	珊瑚橋	-	-	-
			紫波橋	-	-	-
			藤橋	-	-	-
			南大橋	-	-	-
			金ヶ崎橋	-	-	A
			朝日橋	-	-	A
	名取川	名取川	名取橋	-	-	-
	鳴瀬川	吉田川	高田橋	B	-	-

表-28(2) 新しい水質指標（河川）による年間の総合評価結果一覧

地整局 開発局	水系名	河川名	地点名	年間の総合評価ランク		
				人と河川の 豊かな ふれあい	豊かな 生態系	利用しやすい 水質
関東	久慈川	久慈川	富岡橋上流	A	A	-
			富岡橋	-	-	A
		山田川	東橋下流	D	B	-
			里川	C	A	-
	荒川	越辺川	落合橋(越)	C	-	C
		荒川	開平橋	C	-	B
			久下橋	B	-	-
			御成橋	C	-	-
			治水橋	C	-	-
			秋ヶ瀬橋堰(上)	C	-	C
			新荒川大橋	C	D	-
			正喜橋	A	-	A
			平井大橋	C	C	-
			高麗川	B	-	-
			小畔川	B	-	C
			都幾川	B	-	-
		入間川	入間大橋	C	-	C
			落合橋(入)	B	-	B
	相模川	相模川	神川橋	C	B	-
	多摩川	浅川	高幡橋	B	B	-
			鶴巻橋	B	B	-
		多摩川	永田橋	B	B	-
			新二子橋	C	C	-
			多摩水道橋	C	C	B
			多摩川原橋	C	C	-
			調布橋	B	B	A
			拝島橋	C	B	A
	鶴見川	鶴見川	亀の子橋	C	C	-
	那珂川	那珂川	烏山大橋上流	B	A	-
			新那珂橋上流	C	B	-
			大藤橋上流	C	B	-
			那珂川大橋下流	B	A	-
			八溝大橋下流	B	B	-
	富士川	笛吹川	鵜飼橋	B	B	-
		富士川	南部橋	A	A	-
			富山橋	A	A	-
			富士川橋	A	A	-
	利根川	綾瀬川	内匠橋	-	D	-
		烏川	岩倉橋	C	-	-
			岩鼻	C	B	A
			高松	B	B	-
		鬼怒川	川島橋	A	A	-
		桐生川	水辺の楽校(右岸)	A	B	-
			水辺の楽校(左岸)	B	B	-
		江戸川	関宿橋	-	-	-
			江戸川水門(上)	-	-	-
			東西線鉄橋下	-	-	-
			野田橋	-	-	-
			流山橋	-	-	B
			新葛飾橋	-	-	B
			矢切取水場	-	-	B
		小貝川	中郷	C	-	-
		神流川	神流川橋	B	B	A
			藤武橋	B	B	-
		男鹿川	男鹿川末流	A	A	-
		中川	高砂橋	-	D	-
			潮止橋	-	D	-
			八条橋	-	-	C
			飯塚橋	-	-	C
		渡良瀬川	赤岩用水取水口(左岸)	C	B	-
			田中橋	B	B	-
			葉鹿橋(右岸)	C	B	-
			葉鹿橋(左岸)	C	B	-
		利根運河	赤岩用水取水口	-	-	A
			運河橋	D	-	-

表-28(3) 新しい水質指標（河川）による年間の総合評価結果一覧

地整局 開発局	水系名	河川名	地点名	年間の総合評価ランク		
				人と河川の 豊かな ふれあい	豊かな 生態系	利用しやすい 水質
関東	利根川	利根川	河口堰	-	B	-
			金江津	-	C	-
			取手	C	-	-
			須賀	-	B	-
			水郷大橋	C	C	B
			銚子大橋	C	C	-
			布川	C	B	B
			木下	-	B	-
			流水保全水路	C	-	-
北陸	関川	関川	今池橋	-	D	-
			温泉橋	-	A	-
	荒川	荒川	荒川橋	A	A	-
			荒川取水堰	-	-	A
			黒部川	B	A	-
	小矢部川	小矢部川	国糸橋	B	C	-
			庄川	A	A	-
	常願寺川	常願寺川	立山橋	A	A	-
			阿賀野川	-	-	-
	阿賀野川	阿賀野川	馬越橋	-	-	-
			馬越浄水場	-	-	A
			阿賀野川	-	-	-
	信濃川	信濃川	小出橋	C	A	-
			旭橋	C	B	-
			十日町橋	C	A	-
			長生橋	C	B	-
			信濃川取水塔	-	-	B
			平成大橋	-	-	B
			犀川	-	-	B
			千曲川	A	A	-
	神通川	神通川	神通大橋	A	A	-
			姫川	-	A	-
中部	安倍川	安倍川	安倍川大橋	C	A	-
			曙橋	B	A	A
			南安倍川橋	C	A	-
			萬科川	A	A	-
	雲出川	雲出川	雲出橋	B	-	A
			小戸木橋	B	B	-
			小野江頭首工	B	A	-
			大仰橋	B	A	A
			長野川	-	D	-
			中村川	-	-	-
	菊川	菊川	高田橋	C	C	-
			宮川	A	-	-
	五十鈴川	五十鈴川	宮川ラブリバー公園	B	B	-
			度会橋	B	B	A
			御側橋	A	A	-
			櫛田川	A	B	-
	櫛田川	櫛田川	櫛田橋	A	B	-
			両郡橋	B	A	A
			佐奈川	C	B	-
	狩野川	黄瀬川	黄瀬川橋	B	-	-
			黄瀬川橋下流	C	A	-
			黄瀬川大橋上流	C	A	-
			柿田川	A	-	-
		狩野川	黒瀬橋	A	A	-
			千歳橋下流	A	B	-
			大仁橋	A	-	-
			大仁橋上流	A	A	-
	庄内川	庄内川	来光川	B	-	-
			多治見橋	-	-	-
			大留橋	-	-	-
			天ヶ橋	-	-	-
			枇杷島橋	-	-	-
			矢田川	-	-	-
	大井川	大井川	天神橋	-	-	-
			神座	B	A	-
	天竜川	天竜川	新蛇川橋	A	A	-
			横川川	A	A	-
			三峰川	B	A	-
			松川	A	A	-
	前沢川	前沢川	上溝橋	A	A	-
			新前沢橋	A	A	-

表-28(4) 新しい水質指標（河川）による年間の総合評価結果一覧

地整局 開発局	水系名	河川名	地点名	年間の総合評価ランク		
				人と河川の 豊かな ふれあい	豊かな 生態系	利用しやすい 水質
中部	天竜川	天竜川	伊那路橋	B	A	-
			駒見大橋	B	A	-
			天の中川橋	B	A	-
			天竜橋	B	A	-
			平成大橋	B	A	-
			明神橋	C	A	-
		太田切川	大田原橋	A	A	-
	豊川	豊川	当古橋	B	A	A
			江島橋	-	-	A
			石田	-	-	A
	木曽川	伊自良川	繰船橋	C	-	-
			竹橋	B	-	-
			杭瀬川	B	-	-
			根尾川	A	-	-
			多度川	-	-	-
			長良川	-	-	B
			伊勢大橋	-	-	-
		鏡島大橋	鏡島大橋	B	-	-
			長良大橋	B	-	-
			東海大橋	-	-	-
			南濃大橋	-	-	-
			藍川橋	A	-	A
		木曽川	大山橋	B	-	A
			東海大橋	-	-	-
			濃尾大橋	B	-	A
			木曽川橋	B	-	-
		揖斐川	岡島橋	A	-	-
			海津橋	-	-	-
			鷺田橋	B	-	-
			福岡大橋	-	-	-
			伊勢大橋	-	-	-
	鈴鹿川	安楽川	中富田	A	-	-
			和泉橋	B	B	-
		内部川	河原田橋	A	B	-
			新矢矧橋	B	B	-
		鈴鹿川	勤進橋	B	B	-
			亀山橋	B	B	-
			高岡橋	A	-	-
			山下橋	B	A	-
			小倉橋	B	-	-
			庄野橋	A	B	-
			鈴国橋	A	-	-
			和泉橋	B	-	-
		矢作川	岩津天神橋	-	-	B
			明治用水頭首工	-	-	B
近畿	加古川	加古川	国包	-	-	C
			池尻	-	-	A
	紀の川	紀の川	九度山橋	A	A	-
			岸上橋	-	-	B
			高島橋	-	-	A
			三谷橋	-	-	B
			新六ヶ井堰	-	-	B
			船戸	-	-	B
			大川橋	-	-	B
			藤崎井堰	-	-	B
		千手川	出世不動明王	A	A	-
	九頭竜川	九頭竜川	天池河川公園	C	A	-
			福井大橋下流	B	B	-
			鳴鹿橋上流	C	B	-
	新宮川	相野谷川	相野谷橋下流	A	A	-
		熊野川	熊野大橋	-	-	-
	大和川	大和川	河内橋	C	B	-
			浅香	D	-	-
			藤井	C	-	-
	北川	北川	高塚橋	B	B	-
			三宅橋	B	B	-
			天徳寺橋	A	B	-
	揖保川	揖保川	山崎	-	-	A
			龍野	-	-	A

表-28(5) 新しい水質指標（河川）による年間の総合評価結果一覧

地整局 開発局	水系名	河川名	地点名	年間の総合評価ランク		
				人と河川の 豊かな ふれあい	豊かな 生態系	利用しやすい 水質
近畿	淀川	宇治川	宇治橋	B	B	A
			大峰橋	-	A	-
			宇治川御幸橋	-	-	A
		桂川	渡月橋	B	B	B
			宮前橋	-	-	B
			信楽川・瀬田川合流点	B	A	A
		瀬田川 猪名川	銀橋	-	-	C
			軍行橋	-	-	A
			こんにやく橋	B	B	-
			桑津橋	C	B	-
			池田床固下流	B	B	-
		服部川	新服部橋	B	A	-
			恭仁大橋	B	B	-
		木津川	加茂恭仁大橋	-	-	A
			木津川御幸橋	-	-	B
			野洲川大橋	C	D	A
		淀川	鳥飼大橋	C	B	-
			柴島（表層）	-	-	A
			菅原城北大橋（表層）	-	-	A
			鳥飼大橋（左岸）	-	-	A
				-	-	-
中国	旭川	旭川	三野	B	B	-
			新大原橋	A	B	-
			乙井手堰	-	-	A
			合同堰	-	-	A
			相生橋	-	-	A
				-	-	-
		芦田川	山手橋	C	B	-
			小水谷橋	D	A	-
			大井手頭首工	-	B	-
			中津原	-	-	A
			中津原取水堰	B	-	-
			府中新橋	A	B	-
			府中大渡橋	A	-	-
			福戸橋	B	-	-
			上戸手	-	-	A
			府中大橋	-	-	A
		高屋川	掛の橋	D	-	-
			出原橋	C	-	-
			鶴ヶ橋	D	-	-
			白鷺橋	-	C	-
			横尾	-	-	-
			川北	-	-	-
		砂川	中須大橋	D	-	-
		瀬戸川	観音橋	D	-	-
			瀬戸川	-	-	-
	吉井川	吉井川	熊山橋	A	B	A
			備前大橋	B	B	A
			和気橋	B	B	A
			鴨越堰	-	-	A
			弓削橋	-	-	A
			坂根堰	-	-	A
				-	-	-
		金剛川	宮橋	B	B	A
	江の川	江の川	祝橋下流	B	B	-
			川戸	A	A	-
			川本	A	B	-
			都賀本郷	A	B	-
			桜江大橋	-	-	A
			川平9K700	-	-	A
	高津川 高梁川	高津川	神田	A	B	-
			川辺橋	A	B	A
			湛井堰	B	B	A
			霞橋	-	-	A
			笠井堰	-	-	A
		小田川	福松橋	B	B	A
			漆尾	A	A	A
		佐波川	新橋	A	B	A
				-	-	-
		小瀬川	両国橋	B	A	A
	千代川 太田川	千代川	源太橋	B	A	-
			壬辰橋	B	A	-
		太田川	矢口川上流	B	A	A
				-	-	-

表-28(6) 新しい水質指標（河川）による年間の総合評価結果一覧

地整局 開発局	水系名	河川名	地点名	年間の総合評価ランク		
				人と河川の 豊かな ふれあい	豊かな 生態系	利用しやすい 水質
中国	天神川	天神川	小田橋	B	A	-
			竹田橋	A	A	-
			高城水辺の楽校	B	A	-
			三徳川	B	A	-
			小鴨川	A	A	-
			出口橋	A	A	-
			松河原大橋	A	A	-
			上小鴨水辺の楽校	A	A	-
	日野川	日野川	鬼守橋	B	B	-
			車尾堰	B	B	-
			車尾	-	-	-
			八幡	-	-	-
			法勝寺川	C	A	-
四国	吉野川	鮎喰川	鮎喰	-	A	-
			吉野川	A	A	-
		高瀬橋	学島橋下流	-	-	A
			第十堰貯水池内	-	A	-
			美馬橋下流	B	A	-
			脇町潜水橋	-	-	-
			牛屋島橋	-	-	-
		旧吉野川	市場橋	-	-	A
			大津橋	-	A	-
		穴吹川	穴吹	-	-	-
			穴吹新橋	A	A	-
		今切川	加賀須野橋	-	A	-
			鯛浜堰上流	-	-	-
		貞光川	貞光	-	-	-
			重信川	A	A	-
	重信川	重信川	山之内	B	A	-
			重信橋	C	C	-
			出合橋	C	C	-
			中川原橋	B	A	-
			拝志大橋	A	A	-
			弘岡地先	A	A	-
	仁淀川	仁淀川	波川地先	A	A	A
			渡川	A	B	-
	渡川	後川	後川橋	A	B	-
			四万十川	A	B	-
	土器川	土器川	中筋川	B	B	-
			丸亀大橋	C	D	-
			高速道路橋	A	C	-
			長炭橋	B	B	-
			被川橋	B	A	-
			丸亀橋	-	-	A
九州	物部川	物部川	常包橋	-	-	-
			吉川地先	B	A	-
	遠賀川	遠賀川	溝堀	C	D	-
			笹尾川	D	D	-
			彦山川	-	-	C
	肝属川	肝属川	鶴峰橋	B	A	-
			鹿屋小学校前	C	C	-
			高山川	B	B	-
	嘉瀬川	嘉瀬川	大脇床止	-	-	A
			嘉瀬橋	-	-	-
	菊池川	菊池川	中富	C	A	-
			白石	-	-	A
			球磨大橋上流	B	A	-
			中川原公園	B	A	-
	球磨川	球磨川	横石	-	-	A
			権現橋	A	A	-
			中園川	A	A	-
			油谷川	B	A	-
			五ヶ瀬川	B	A	A
			三輪	-	-	-
	五ヶ瀬川	五ヶ瀬川	松山橋	-	-	-
			祝子川	C	A	-
			小川	B	A	-
			大瀬川	B	A	-
			友内川	-	B	-
			山国川	B	B	-
	山国川	山国川	下宮永	B	B	A
			下唐原	B	B	-
			柿坂	B	B	-
			上曾木	B	A	-
			城井橋	B	B	-

表-28(7) 新しい水質指標（河川）による年間の総合評価結果一覧

地整局 開発局	水系名	河川名	地点名	年間の総合評価ランク		
				人と河川の 豊かな ふれあい	豊かな 生態系	利用しやすい 水質
九州	小丸川	小丸川	高城橋	B	A	-
			竹鳩橋	B	A	-
	松浦川	厳木川	厳木コミュニティーセンター	B	A	-
			中山	B	B	-
			町切堰	B	A	-
		松浦川	大黒堰	B	B	-
			桃川親水公園	B	B	-
			久里橋	-	-	A
	川内川	川内川	堂本堰下流	B	A	-
			麓橋上流	A	A	-
			斧淵	-	-	B
	大分川	大分川	府内大橋	B	B	A
	大野川	乙津川	水辺の楽校	D	B	-
		大野川	白滝橋	B	A	A
	大淀川	大淀川	浦之名川合流点	B	B	-
			相生橋	-	-	A
			本庄川	B	A	B
	筑後川	筑後川	本庄橋	B	A	-
			台霧の瀬	B	A	-
			大山水辺プラザ	B	A	-
			三隈大橋	-	-	A
			瀬ノ下	-	-	B
			島内堰	-	-	A
	白川	白川	子飼橋	B	B	-
			代継橋	C	B	-
	番匠川	番匠川	笠掛水辺の楽校	A	-	-
			上岡	B	A	-
			森下橋	A	-	-
			池船スポーツ公園	B	B	-
			番匠公園	B	A	A
			旭町	C	-	-
	本明川	本明川	公園橋	C	C	-
			四面橋	C	A	-
			鉄道橋	B	A	-
			天満公園前	C	-	-
	矢部川	矢部川	船小屋	C	A	-
	緑川	緑川	中甲橋	B	B	-
			津志田	A	A	-
	六角川	生津川	妙見橋	C	B	-
		武雄川	武雄川	C	B	-
			妙見橋	B	B	-
		六角川	溝ノ上	B	B	-

コラム：川の魅力アップ ～新しい水質指標での評価結果より～

新しい水質指標による評価は、平成17年より毎年、数多くの調査地点で行われてきました。

調査当初と現在の評価を比較すると、評価が良くなっている調査地点も多数あります（表 ）。「人と河川の豊かなふれあいの確保」では、平成17年と比べて2ランクアップした調査地点が全国で6地点ありました（図 ）。

今後も引き続き調査を続けることで、調査地点の水質の状況が経年的に比較できます。結果を活用して評価ランクが下がってしまっている原因を確認できれば、更なる水質改善に繋がると考えられます。

表 は、「人と河川の豊かなふれあいの確保」「豊かな生態系の確保」「利用しやすい水質の確保」のいずれかの視点について平成17年と平成25年に同じ調査地点で実施されているものを対象に整理しました。

ランク変動は、年間の総合評価ランクを数値（A=4、B=3、C=2、D=1）に置き換えて平成17年からの変動を表しています（例：H17年D→H25年Aの場合は3ランクアップ）。

表 の凡例は、下図の通りです。

【凡例】

年間評価ランク：■Aランク、■Bランク、■Cランク、■Dランク

ランク変動：（ランクアップ）↑3、↑2、↑1

：（変動なし）→0

：（ランクダウン）↓-1、↓-2、↓-3

表 年間評価ランクの変動状況一覧表 (1/3)

地整局 開発局	水系名	河川名	地点名	年間評価ランク						ランク変動		
				ふれあい		生態系		利用		ふれあい	生態系	利用
				H17年	H25年	H17年	H25年	H17年	H25年			
北海道	釧路川	釧路川	愛国浄水場取水口	-	-	-	-	A	-	-	-	-
			沙流川	B	A	B	A	-	-	1	1	-
			十勝川	C	B	A	A	-	-	1	0	-
			札内川	-	-	-	-	A	-	-	-	-
			南帯橋	-	-	-	-	A	-	-	-	-
			十勝大橋	C	B	B	B	-	A	1	0	-
			渚滑川	-	B	A	A	A	-	-	0	-
			尻別川	B	C	A	A	-	-	-1	0	-
			石狩川	-	B	-	A	A	A	-	-	0
			豊平川	A	A	A	A	A	A	0	0	0
			天塩川	B	A	C	B	-	A	1	1	-
			名寄川	B	A	A	B	-	A	1	-1	-
			真勲別頭首工	-	-	-	-	A	-	-	-	-
			鶴川	B	A	A	A	-	-	1	0	-
			網走川	B	B	A	A	-	-	0	0	-
			湧別川	-	B	-	A	A	-	-	-	-
			天神橋	B	C	-	-	-	-	-1	-	-
東北	阿武隈川	阿武隈川	阿久津	-	-	-	-	B	-	-	-	-
			丸森	-	-	-	-	B	A	-	-	1
			黒岩	-	-	-	-	B	B	-	-	0
			岩木川	-	C	-	-	A	C	-	-	-2
			赤川	C	C	A	A	A	-	0	0	-
			北上川	B	-	A	-	-	-	-	-	-
			紫波橋	C	-	A	-	-	-	-	-	-
			南大橋	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			鳴瀬川	-	B	B	-	-	-	-	-	-
			高田橋	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東	久慈川	荒川	富岡橋	B	-	B	-	A	-	-	-	-
			久下橋	C	B	A	-	C	B	1	-	1
			新荒川大橋	C	C	D	D	-	C	0	0	-
			都幾川	B	B	B	-	A	C	0	-	-2
			入間川	-	C	-	-	B	-	-	-	-
			落合橋(入)	-	B	-	-	A	C	-	-	-2
			多摩川	B	B	-	B	-	-	0	-	-
			永田橋	B	C	-	C	-	-	-1	-	-
			新二子橋	B	C	-	C	-	-	-1	-	-
			多摩水道橋	B	C	-	C	-	-	-1	-	-
			多摩川原橋	B	C	-	C	-	B	-1	-	-
			鶴見川	C	C	-	C	-	A	0	-	-
			笛吹川	C	B	A	B	-	-	1	-1	-
			富士川	C	A	A	A	-	-	2	0	-
			南部橋	C	A	A	A	-	-	2	0	-
			富山橋	C	A	A	A	-	-	2	0	-
			富士川橋	B	A	A	A	-	-	1	0	-
			利根川	B	C	B	-	B	-	-1	-	-
			岩倉橋	-	C	B	B	-	-	-	0	-
			岩鼻	C	B	B	B	B	A	1	0	1
			高松	D	-	-	-	-	-	-	-	-
			江戸川	-	-	-	-	B	-	-	-	-
			流山橋	-	-	-	-	B	B	-	-	0
			新葛飾橋	-	-	-	-	B	B	-	-	1
			小貝川	-	C	-	-	C	B	-	-	-
			神流川	B	B	B	B	A	-	0	0	-
			藤武橋	A	B	B	B	-	A	-1	0	-
			男鹿川	B	A	A	A	-	-	1	0	-
			渡良瀬川	C	-	A	-	A	-	-	-	-
			赤岩用水取水口	-	-	-	B	C	-	-	-	-
			利根川	-	C	-	-	B	-	-	-	-
			取手	-	-	-	B	B	-	-	-	-
			須賀	-	-	-	B	B	-	-	-	-
			布川	-	C	-	B	B	-	-	-	-
			木下	D	-	-	B	B	B	-	-	0
北陸	荒川	荒川	温泉橋	-	-	A	A	-	-	-	0	-
			荒川橋	C	A	-	A	-	-	2	-	-
			荒川取水堰	-	-	-	-	A	-	-	-	-
			黒部川	C	B	A	A	-	A	1	0	-
			庄川	A	A	A	A	-	-	0	0	-
			大門大橋	B	A	A	A	-	-	1	0	-
			常願寺川	-	-	-	-	A	-	-	-	-
			馬越橋	-	-	-	-	A	-	-	-	-
			阿賀野川	C	C	A	A	-	-	0	0	-
			信濃川	C	C	-	A	-	-	0	-	-
			十日町橋	C	C	-	B	-	-	0	-	-
			長生橋	D	-	B	-	-	B	-	-	-
			平成大橋	-	-	-	-	C	B	-	-	1
			犀川	-	-	-	-	B	-	-	-	-
			睦橋	-	-	-	-	B	-	-	-	-
神通川	神通川	神通川	生田	-	-	-	-	B	-	-	-	-
			神通大橋	B	A	B	A	-	A	1	1	-

表 年間評価ランクの変動状況一覧表(2/3)

地整局 開発局	水系名	河川名	地点名	年間評価ランク						ランク変動		
				ふれあい		生態系		利用		ふれあい	生態系	利用
				H17年	H25年	H17年	H25年	H17年	H25年			
中部	菊川	菊川	高田橋	-	C	A	C	-	-	-	↓	-2
			岩出	-	A	A	-	-	-	-	-	-
	宮川	宮川	度会橋	B	B	A	B	-	-	⇒	0	-1
			櫛田橋	B	A	B	B	-	-	⇒	1	0
	櫛田川	櫛田川	両郡橋	C	B	D	A	-	-	⇒	1	3
			狩野川	-	A	A	A	-	-	⇒	0	-
	狩野川	狩野川	大仁橋上流	C	-	-	-	-	-	-	-	-
			庄内川	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	庄内川	庄内川	大留橋	C	B	-	A	-	-	⇒	1	-
			大井川	-	-	B	-	-	A	-	-	-
	大井川	大井川	神座	-	-	B	-	-	A	-	-	-
			豊川	-	-	-	-	-	A	-	-	-
	木曾川	木曾川	江島橋	B	A	-	-	A	-	⇒	1	-
			長良川	C	-	-	-	-	A	-	-	-
	木曾川	木曾川	東海大橋	-	A	B	-	-	A	-	-	-
			木曾川橋	-	B	-	-	-	A	⇒	-1	-
	揖斐川	揖斐川	鷺田橋	-	B	A	-	-	-	-	-	-
			安楽川	-	B	B	B	-	-	⇒	0	-
	鈴鹿川	鈴鹿川	河原田橋	-	A	B	B	-	-	⇒	0	-
			内部川	-	B	B	B	-	-	⇒	0	-
	鈴鹿川	鈴鹿川	勤進橋	-	A	B	-	-	-	-	-	-
			高岡橋	B	A	B	B	-	-	⇒	1	0
	鈴鹿川	鈴鹿川	庄野橋	-	A	B	-	-	-	⇒	1	0
			鈴国橋	C	A	B	-	-	-	↑	2	-
近畿	加古川	加古川	池尻	-	-	-	-	A	C	-	-	↓
			紀の川	-	A	B	A	-	A	-	⇒	1
	紀の川	紀の川	岸上橋	A	-	-	-	-	-	-	-	-
			新六ヶ井堰	-	-	A	-	-	B	-	-	-
	大和川	大和川	大川橋	B	-	-	-	-	B	-	-	-
			河内橋	-	C	C	B	-	-	⇒	1	-
	北川	北川	高塚橋	B	B	B	B	-	-	⇒	0	0
			龍野	C	-	B	-	A	A	-	-	⇒
	揖保川	揖保川	宇治橋	B	B	B	B	-	A	⇒	0	0
			宇治川	-	-	A	A	B	A	-	⇒	0
	淀川	淀川	宇治川御幸橋	-	-	-	-	B	-	-	-	-
			桂川	B	B	B	B	-	A	⇒	0	0
	桂川	桂川	渡月橋	-	-	-	-	C	B	-	-	⇒
			宮前橋	B	-	B	-	-	A	-	-	-
	猪名川	猪名川	銀橋	A	C	B	B	-	-	↓	-2	0
			桑津橋	C	B	B	A	-	-	⇒	1	1
	服部川	服部川	新服部橋	-	-	-	-	C	A	-	-	↑
			木津川	B	C	C	D	B	B	⇒	-1	-1
	野洲川	野洲川	野洲川大橋	C	C	C	B	C	A	⇒	0	1
			淀川	B	-	B	-	A	-	-	-	-
中国	旭川	旭川	乙井手堰	B	-	B	-	A	-	-	-	-
			吉井川	B	A	B	B	A	-	⇒	1	0
	江の川	江の川	桜江大橋	-	-	A	-	A	-	-	-	-
			高津川	B	A	A	B	-	A	⇒	1	-1
	高梁川	高梁川	神田	B	B	B	B	A	A	⇒	0	0
			湛井堰	B	A	B	B	-	A	⇒	1	0
	佐波川	佐波川	新橋	B	B	A	A	-	A	⇒	0	0
			小瀬川	B	B	A	A	-	A	⇒	0	0
	千代川	千代川	源太橋	B	B	A	A	A	A	⇒	0	0
			太田川	B	B	A	A	-	-	⇒	0	0
	日野川	日野川	矢口川上流	-	B	B	A	A	-	-	1	-
			車尾	B	-	-	-	-	-	-	-	-
	八幡	八幡	八幡	-	-	A	-	-	-	-	-	-
			鮎喰川	B	-	-	A	-	-	-	-	-
	吉野川	吉野川	高瀬橋	A	-	-	-	B	-	-	-	-
			脇町潜水橋	B	-	-	-	-	-	-	-	-
	旧吉野川	旧吉野川	市場橋	C	-	-	-	C	-	-	-	-
			穴吹川	A	-	A	-	-	-	-	-	-
	重信川	重信川	穴吹川	C	-	-	-	-	-	-	-	-
			貞光	D	B	C	A	-	-	↑	2	2
	重信川	重信川	重信橋	C	C	C	C	B	-	⇒	0	0
			出合橋	C	C	D	C	-	-	⇒	0	1
	渡川	渡川	中川原橋	B	B	A	A	-	-	⇒	0	0
			拝志大橋	B	A	B	B	-	A	⇒	1	0
四国	土器川	土器川	後川	A	A	A	B	-	-	⇒	0	-1
			具同	B	B	A	A	-	-	⇒	0	0
	土器川	土器川	坂川橋	C	-	C	-	B	-	-	-	-
			丸亀橋	B	-	-	-	-	A	-	-	-

表 年間評価ランクの変動状況一覧表 (3/3)

地整局 開発局	水系名	河川名	地点名	年間評価ランク						ランク変動		
				ふれあい		生態系		利用		ふれあい	生態系	利用
				H17年	H25年	H17年	H25年	H17年	H25年			
九州	遠賀川	遠賀川	溝堀	C	C	C	D	-	-	⇒	0	-1
			彦山川	-	-	-	-	C	-	-	-	-
	肝属川	肝属川	鹿屋小学校前	B	C	C	C	-	-	⇒	-1	0
			菊池川	C	C	A	A	-	A	⇒	0	0
	五ヶ瀬川	五ヶ瀬川	白石	-	-	-	-	A	-	-	-	-
			三輪	-	B	B	A	-	-	-	1	-
	山国川	山国川	松山橋	-	-	B	-	-	A	-	-	-
			大瀬川	C	B	A	A	-	-	⇒	1	0
	小丸川	小丸川	下宮永	A	B	B	B	-	-	⇒	-1	0
			柿坂	A	B	-	B	-	A	⇒	-1	-
			上曾木	A	B	-	A	-	-	⇒	-1	-
			城井橋	A	B	A	B	-	-	⇒	-1	-1
	松浦川	松浦川	高城橋	C	B	A	A	-	-	⇒	1	0
			久里橋	-	-	-	-	A	-	-	-	-
	川内川	川内川	斧淵	-	-	B	-	A	-	-	-	-
			府内大橋	B	B	B	B	A	B	⇒	0	0
	大分川	大分川	水辺の楽校	C	D	C	B	-	A	⇒	-1	1
			白滝橋	B	B	B	A	A	-	⇒	0	1
	筑後川	筑後川	台霧の瀬	-	B	B	A	-	B	-	1	-
			三隈大橋	B	-	-	-	A	-	-	-	-
			瀬ノ下	C	-	A	-	B	A	-	-	1
			島内堰	B	-	A	-	A	B	-	-	-1
	白川	白川	子飼橋	B	B	B	B	-	A	⇒	0	0
			代継橋	B	C	B	B	-	-	⇒	-1	0
	番匠川	番匠川	上岡	A	B	-	A	-	-	⇒	-1	-
			池船スポーツ公園	B	B	-	B	-	-	⇒	0	-
	本明川	本明川	旭町	C	C	B	-	-	A	⇒	0	-
			鉄道橋	B	B	A	A	-	-	⇒	0	0
			天満公園前	C	C	A	-	-	-	⇒	0	-
			船小屋	B	C	B	A	-	-	⇒	-1	1
	矢部川	矢部川	中甲橋	D	B	A	B	-	-	⇒	2	-1
	緑川	緑川	妙見橋	C	C	B	B	-	-	⇒	0	0

荒川 【荒川橋】						
調査年	総合評価 ランク	ゴミの 量	透視度	川底の 感触	水の におい	糞便性 大腸菌
H17年	C	★	★	★	★	★
H25年	A	-	-	★	★	-

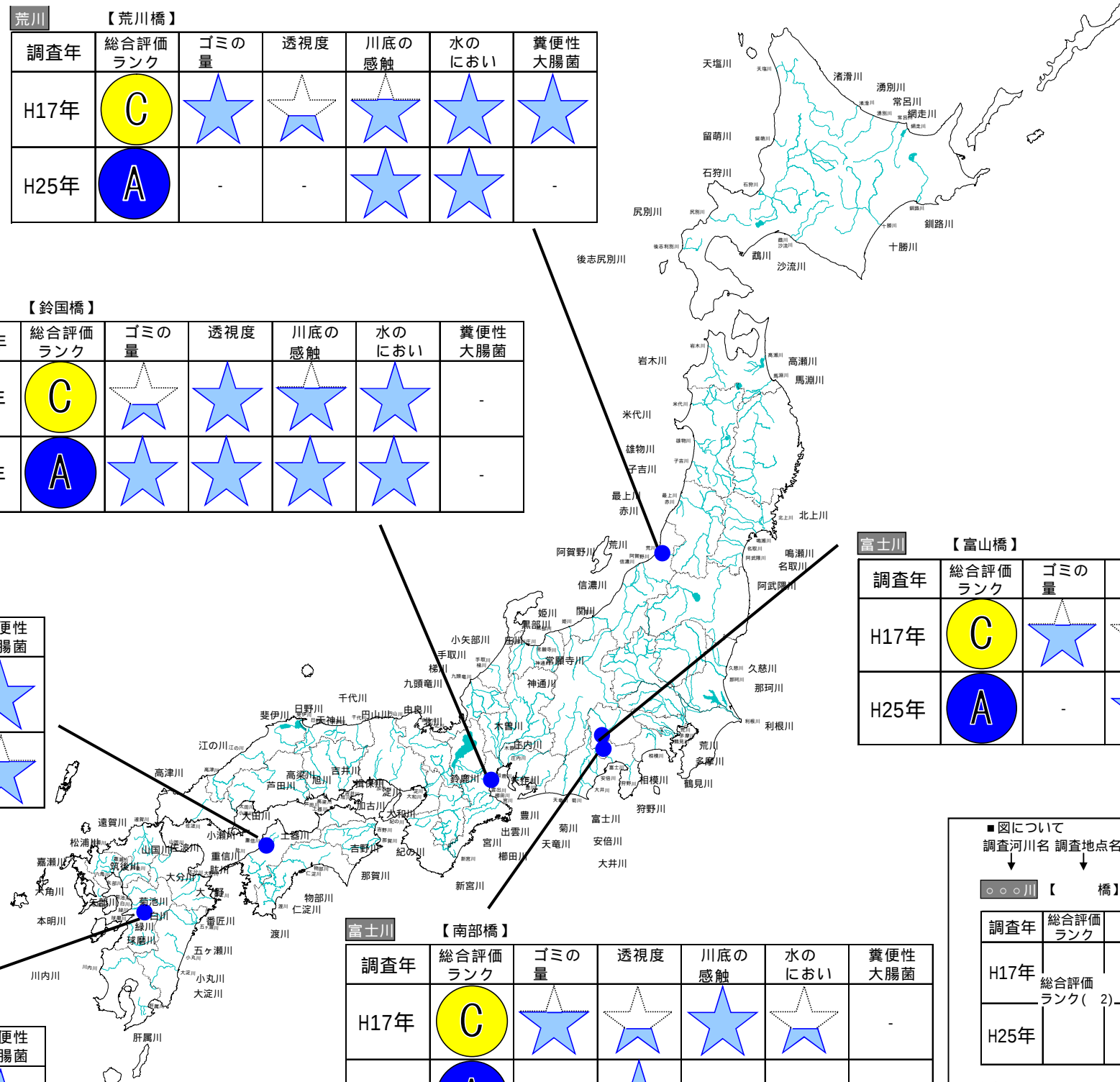
鈴鹿川 【鈴国橋】						
調査年	総合評価 ランク	ゴミの 量	透視度	川底の 感触	水の におい	糞便性 大腸菌
H17年	C	★	★	★	★	-
H25年	A	★	★	★	★	-

重信川 【重信橋】						
調査年	総合評価 ランク	ゴミの 量	透視度	川底の 感触	水の におい	糞便性 大腸菌
H17年	D	★	★	★	★	★
H25年	B	★	★	★	★	★

緑川 【中甲橋】						
調査年	総合評価 ランク	ゴミの 量	透視度	川底の 感触	水の におい	糞便性 大腸菌
H17年	D	★	★	★	★	★
H25年	B	★	★	★	★	★

富士川 【南部橋】						
調査年	総合評価 ランク	ゴミの 量	透視度	川底の 感触	水の におい	糞便性 大腸菌
H17年	C	★	★	★	★	-
H25年	A	-	★	-	-	-

富士川 【富山橋】						
調査年	総合評価 ランク	ゴミの 量	透視度	川底の 感触	水の におい	糞便性 大腸菌
H17年	C	★	★	★	★	-
H25年	A	-	★	-	-	-



■ 図について
調査河川名 調査地点名

○○○川 【 橋 】

調査年	総合評価 ランク	ゴミの 量	透視度	川底の 感触	水の におい	糞便性 大腸菌
H17年	総合評価 ランク (2)					
H25年						

← 評価項目 (1)

3 ランク評価

Aランク	Bランク	Cランク	Dランク
★	★	★	★

1 評価項目
ゴミの量が少ない
透視度が高い
川底の感触が不快ではない
水のにおいが不快ではない
糞便性大腸菌群数が少ない

2 総合評価ランク
Aランク...顔を川の水につけやすい
Bランク...川の中に入って遊びやすい
Cランク...川の中には入れないが、川に近づくことができる
Dランク...川の水に魅力がなく、川に近づくにくい

図 「人と河川の豊かなふれあいの確保」評価ランクの平成17年から平成25年の変化（2ランクアップの調査地点）

水質調査地点の平均的な水質（BOD値）が良好な河川との比較

平成25年の各河川における水質調査地点の平均的な水質（BOD値）が良好な河川について、新しい水質指標により評価した結果を表-29(1)、表-29(2)に示した。

良好な河川について新しい水質指標により測定された河川についてみると、「人と河川の豊かなふれあいの確保」の視点ではゴミの量、透視度、川底の感触、水のおいの評価が低い地点もみられるが、他の項目はAランクとなっており、BOD以外の視点からも概ね良好な河川であることが分かった。「豊かな生態系の確保」の視点、「利用しやすい水質の確保」の視点では全ての評価項目がAランクとなっており、BOD以外の視点からも良好な河川であった。

表-29(1) 水質調査地点の平均的な水質（BOD値）が良好な河川の新しい水質指標による評価（平成25年）

地方名 / 河川名 (水系名)	都道府県名	BOD (mg/ ℓ)		新しい水質指標による評価												
		平均値 (75%値)		人と河川の 豊かなふれあいの確保					豊かな生態系の確保			利用しやすい 水質の確保				
				ゴミの 量が少 ない	透視 度が高 い	川底の 感触が 不快で はな い	水の におい が不快 では な い	糞便性 大腸菌 数が少 ない	DO が 多い	NH ₄ - N が少 ない	きれいな 水にす む生物 が多い	トリハ ロメタン 生成能 が少 ない	2- MIB が 少 ない	ジオス ミンが 少 ない	NH ₄ - N が少 ない	
北海道 / 尻別川 (尻別川水系)	北海道	0.5 (0.5)						未測定	未測定 (豊国橋下流)			未測定				
東北 / 荒川 (阿武隈川水系)	福島			未測定					未測定			未測定				
北陸 / 庄川 (庄川水系)	富山											未測定				
中部 / 安倍川 (安倍川水系)	静岡															
中国 / 小鴨川 (天神川水系)	鳥取							未測定	未測定			未測定				
				『人と河川の豊かなふれあいの確保』					『豊かな生態系の確保』				『利用しやすい水質の確保』			
Aランク	Bランク	Cランク	Dランク	Aランク	Bランク	Cランク	Dランク	Aランク	Bランク	Cランク						
																

新しい水質指標による評価について

それぞれの項目について、Aが最も良い評価ランクです。

「人と河川の豊かなふれあいの確保」では、河川水質を親水性や景観の観点から調査した結果です。また、「豊かな生態系の確保」では、河川水質を水生生物の生息環境の観点、「利用しやすい水質の確保」では、河川水質を水道水への利用のしやすさの観点から調査した結果です。

「人と河川の豊かなふれあいの確保」と「豊かな生態系の確保」では、地域住民と河川管理者が協働して調査を実施しています（一部の水質項目は河川管理者のみで実施しています）。河川の水質を評価したものであり、その地点への近付き易さや河川形態などは評価の対象となっておりません。

「人と河川の豊かなふれあいの確保」では、においや感触など、個人差が生じる項目も含んだ結果です。

「利用しやすい水質の確保」は、水道水源としての利用しやすさを評価する指標項目であることから、主に上水道取水がある水域を調査対象範囲としました。

表-29(2) 水質調査地点の平均的な水質（BOD値）が良好な河川の新しい水質指標による評価（平成25年）

地方名／河川名 （水系名）	都道府県名	BOD（mg／ℓ）		新しい水質指標による評価												
		平均値	（75％値）	人と河川の 豊かなふれあいの確保					豊かな生態系の確保			利用しやすい 水質の確保				
				ゴミの 量が少 ない	透視 度が高 い	川底 の感 触が 不快 で は な い	水 の お い が 不 快 で は な い	糞 便 性 大 腸 菌 群 数 が 少 ない	DO が多 い	NH ₄ - Nが少 ない	きれ いな 水に すむ 生物 が多 い	トリ ハロ メタ ン生 成能 が少 ない	2- MIB が少 ない	ジオ スミ ンが 少 ない	NH ₄ - Nが少 ない	
中国／高津川 （高津川水系）	島根	0.5	（0.5）	★	★	★	★	★	★	★	★	未測定				
				（神田）					（神田）							
四国／仁淀川 （仁淀川水系）	高知			★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★
				（波川地先、弘岡地先の平均値）					（波川地先、弘岡地先の平均値）			（波川地先）				
四国／吉野川 （吉野川水系）	徳島			★	★	★	★	未測定	★	★	★	★	★	★	★	★
		（学島橋下流、美馬橋下流の平均値）					（第十堰貯水池内）			（学島橋下流、美馬橋下流の平均値）						
九州／川辺川 （球磨川水系）	熊本	宮崎		★	★	★	★	★	★	★	★	未測定				
				（権現橋）					（権現橋）							
九州／五ヶ瀬川 （五ヶ瀬川水系）	宮崎			★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	
		（三輪）					（三輪）			（三輪）						
『人と河川の豊かなふれあいの確保』				『豊かな生態系の確保』				『利用しやすい水質の確保』								
Aランク	Bランク	Cランク	Dランク	Aランク	Bランク	Cランク	Dランク	Aランク	Bランク	Cランク						
★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★		

新しい水質指標による評価について

それぞれの項目について、Aが最も良い評価ランクです。

「人と河川の豊かなふれあいの確保」では、河川水質を親水性や景観の観点から調査した結果です。また、「豊かな生態系の確保」では、河川水質を水生生物の生息環境の観点、「利用しやすい水質の確保」では、河川水質を水道水への利用のしやすさの観点から調査した結果です。

「人と河川の豊かなふれあいの確保」と「豊かな生態系の確保」では、地域住民と河川管理者が協働して調査を実施しています（一部の水質項目は河川管理者のみで実施しています）。河川の水質を評価したものであり、その地点への近づき易さや河川形態などは評価の対象となっておりません。

「人と河川の豊かなふれあいの確保」では、においや感触など、個人差が生じる項目も含んだ結果です。

「利用しやすい水質の確保」は、水道水源としての利用しやすさを評価する指標項目であることから、主に上水道取水がある水域を調査対象範囲としました。

一方、新しい水質指標の「人と河川の豊かなふれあいの確保」の視点について、各調査地点の年間の総合評価ランク別に、河川のBOD平均水質との関係をまとめた結果を図-30に示す。総合評価ランクA～Dの総数はそれぞれ異なるが、Bランクと良好な評価をされた地点でもBOD平均値が比較的高い河川があることや、逆に、BOD平均値が低い河川でも、最も評価の低いDランクの地点があることがわかった。

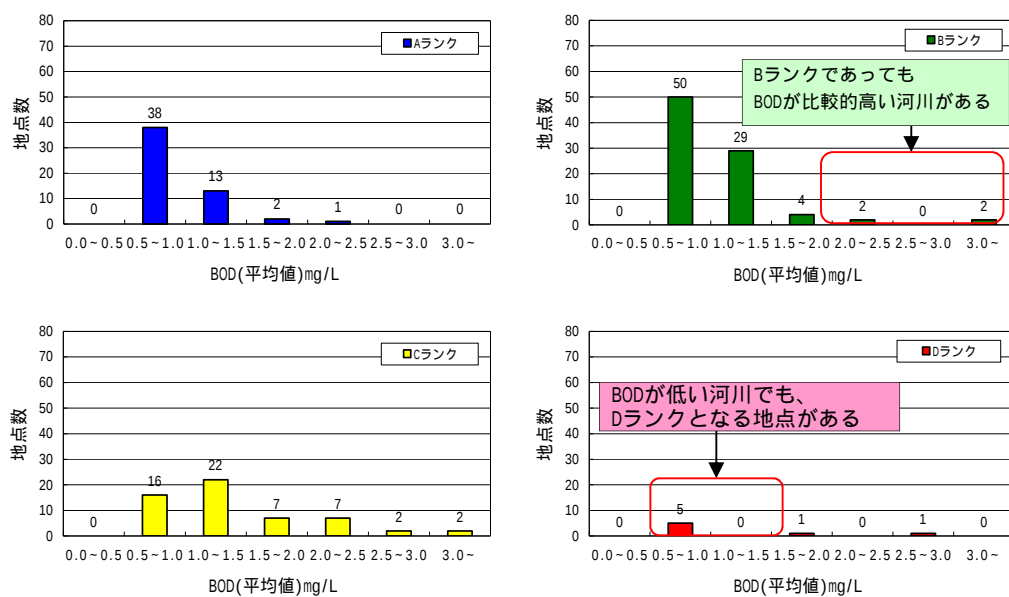


図-30 「人と河川の豊かなふれあいの確保」の年間の総合評価ランク別の河川のBOD平均値と地点数

新しい水質指標（河川）（案）による総合評価の最低ランクの原因の推定
 新しい水質指標による総合評価結果のうち最低ランクの地点について、
 項目別評価ランクを示した（図-31(1)～図-31(3)）。

「人と河川の豊かなふれあいの確保」については、総合評価ランクが最も低いDランクであった15地点のうち、大和川水系大和川の浅香と大野川水系乙津川の水辺の楽校では「水の臭い」、芦田川水系瀬戸川の観音橋では「川底の感触」の評価ランクが低い時期があったことが原因であった。その他の12地点では、透視度のみの評価ランクが低い時期があったことが原因であった。

「豊かな生態系の確保」については、総合評価ランクが最も低いDランクであった10地点のうち、4地点ではアンモニア性窒素(NH₄-N)、6地点では「生物の生息・生育・繁殖環境」の評価ランクが低い時期があることが原因であった。

「利用しやすい水質の確保」については、総合評価ランクが最も低いCランクであった12地点のうち、半数の6地点ではトリハロメタン生成能とアンモニア性窒素(NH₄-N)、3地点では「トリハロメタン生成能」、2地点ではアンモニア性窒素(NH₄-N)、1地点では「2-MIB」の評価ランクが低い時期があることが原因であった。

表-30 総合評価の最低ランクの原因

水質指標	評価項目	地点数
人と河川の豊かなふれあいの確保	ゴミの量	0
	透視度	12
	川底の感触	1
	水のにおい	2
	糞便性大腸菌	0
	計	15
豊かな生態系の確保	DO	0
	NH ₄ -N	4
	水生生物の生息	6
	計	10
利用しやすい水質の確保	トリハロメタン生成能	9
	2-MIB	1
	ジ'オキソ	0
	NH ₄ -N	8
	計	18

重複している地点もあるため、最低ランク数と表中の計は一致しない水質指標がある。

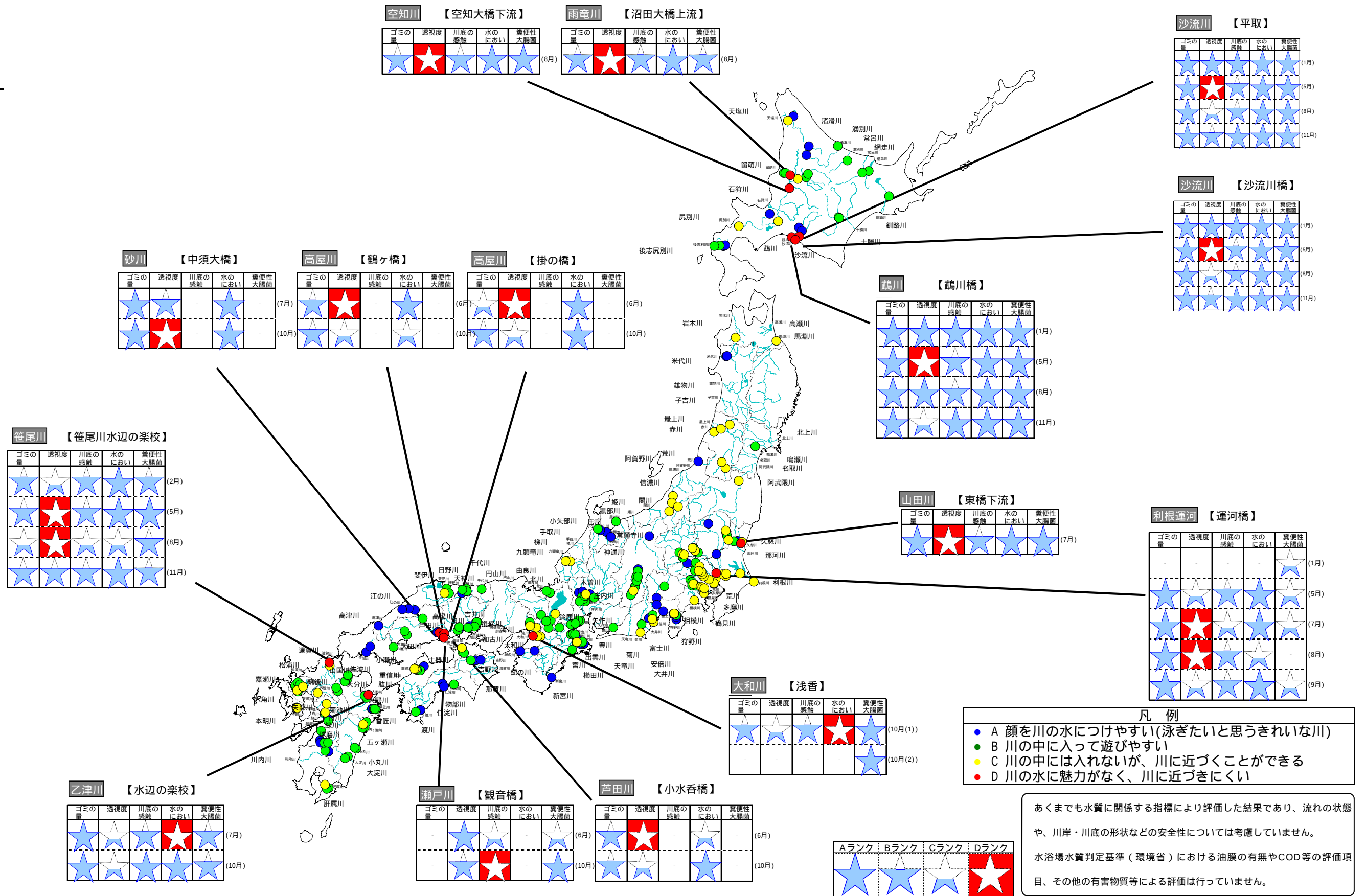
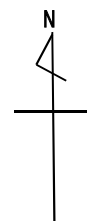


図-31(1) 平成25年「人と河川の豊かなふれあいの確保」調査結果 Dランクの要因分析

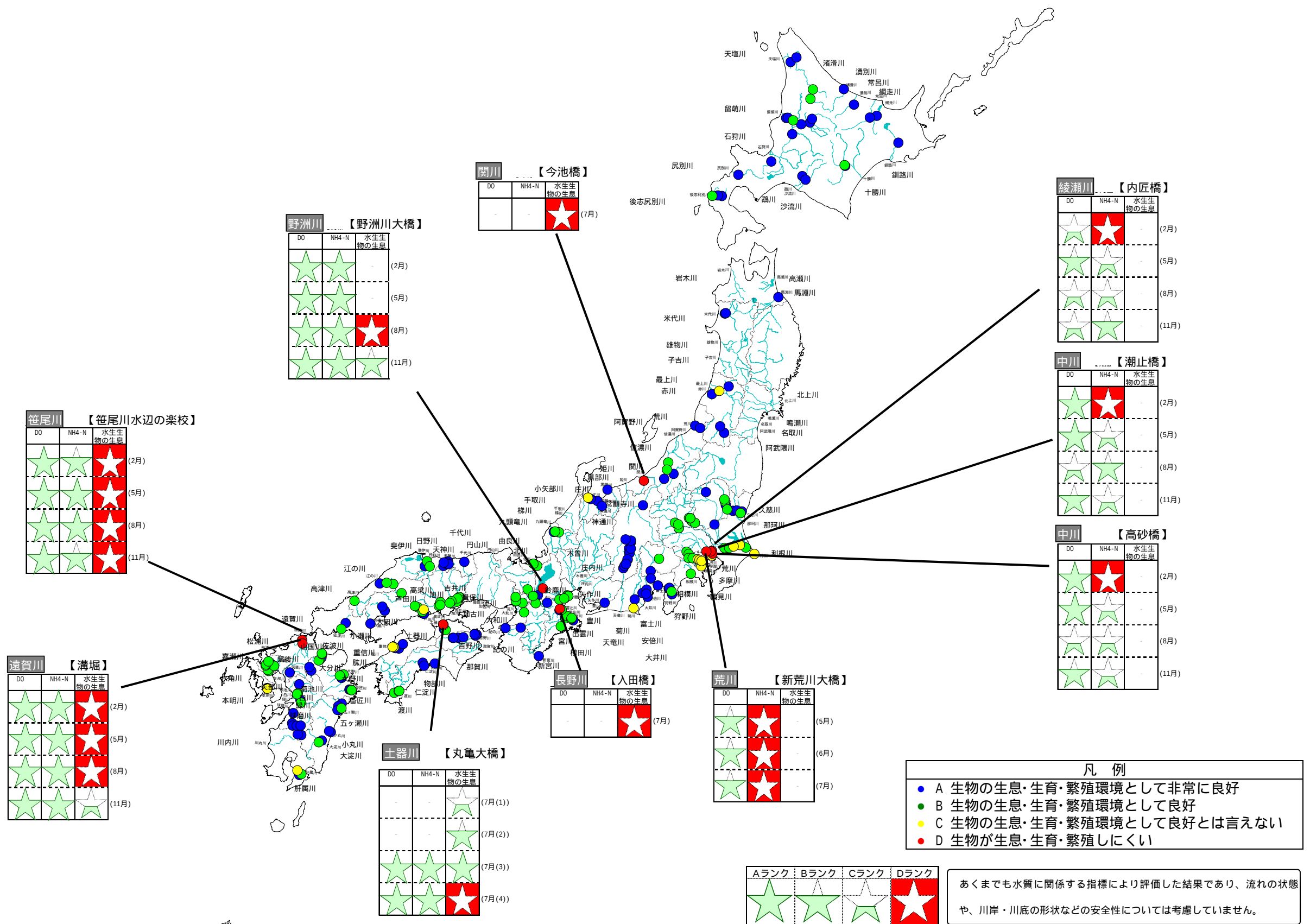
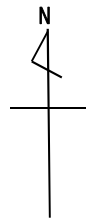


図-31(2) 平成25年「豊かな生態系の確保」調査結果 Dランクの要因分析

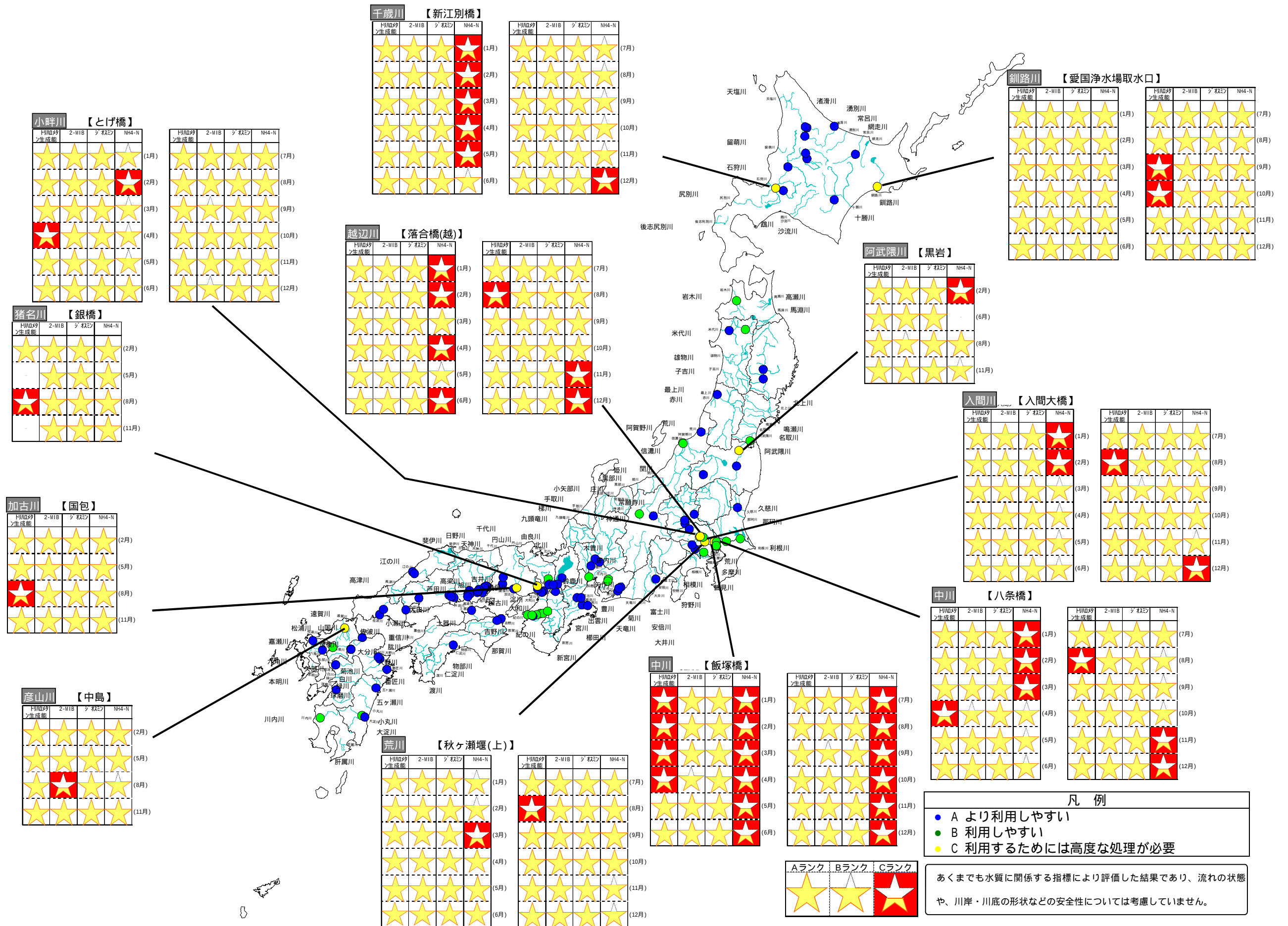
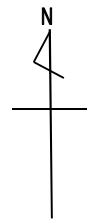


図-31(3) 平成25年「利用しやすい水質の確保」調査結果 Cランクの要因分析

新しい水質指標（河川）（案）による全国の調査地点のAランク評価

前述の評価は、それぞれの視点について3～5つある評価項目のうち、最も低い項目別評価ランクをその地点の総合評価ランクとしたものである。

ここでは、各視点についてAランク（最も良い評価）を得た項目数を星（ ）の数で表し、調査地点を評価した結果を図-32に示す。星の数が多いものほど、各視点の項目で高い評価を得た数が多いことを示す。なお、ここでは、全測定項目を測定した調査地点をとりまとめた対象とした注²²。

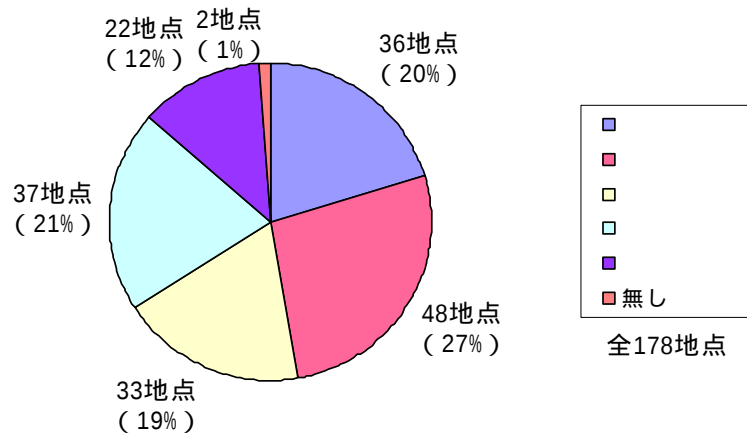
「人と河川の豊かなふれあいの確保」は、ゴミの量や透視度等全5項目を測定しており、全項目がAランクであると が5つになる。全調査地点のうち、全項目がAランクであった 5つは約20%（36地点/178地点）であった。

「豊かな生態系の確保」は、水生生物の生息等全3項目を測定している。全調査地点のうち全項目がAランクであった 3つの地点が最も多く約51%（80地点/157地点）であった。また、全ての地点はいずれかの項目でAランクと評価された。

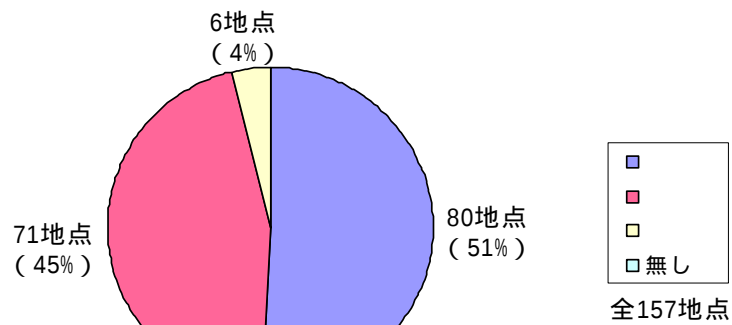
「利用しやすい水質の確保」は、トリハロメタン生成能等全4項目を測定している。全調査地点のうち全項目がAランクであった 4つの地点が最も多く、約88%（122地点/138地点）であった。また、全ての地点でいずれかの項目がAランクと評価された。

注²² 同一地点で年間に複数回の調査が行われた場合は、調査回ごとの評価ランク（ ）の数の最頻値を地点の年間評価とした。最頻値が2つ以上ある場合は、 の数の少ない方を地点の年間評価とした。
全測定項目を測定した調査地点をとりまとめた対象としたことから「（2）実施水系・地点数」などに示した全地点数とは異なる。

【人と河川の豊かなふれあいの確保】



【豊かな生態系の確保】



【利用しやすい水質の確保】

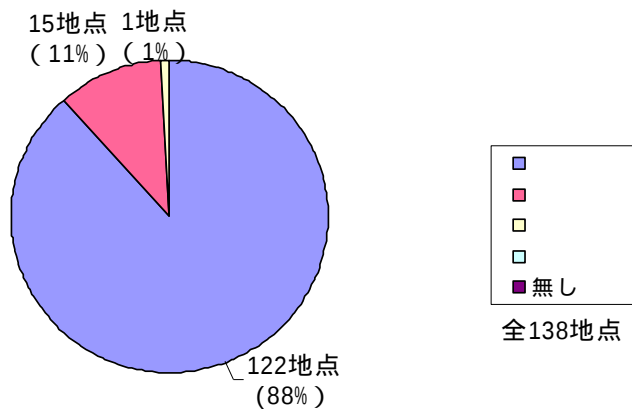


図-32 Aランクで評価された項目数を用いた調査地点とその割合

各地点について、各視点からAランクと評価された測定項目の数を の数で示した。
 人と河川の豊かなふれあいの確保：全 5 項目、豊かな生態系の確保：全 3 項目、利用しやすい水質の確保：全 4 項目

(5) 「人と河川の豊かなふれあいの確保」

評価項目と評価レベル

「人と河川の豊かなふれあいの確保」は、快適性や安全性といった、人が河川とふれあう際に、河川水質が確保すべき機能を評価するための視点である。

評価項目として、「ゴミの量」「透視度」「川底の感触」「水のにおい」「糞便性大腸菌群数」の5つが設定されており、このうち糞便性大腸菌群数以外の4項目は、住民と河川管理者とが協働で調査する項目である。

各評価項目の評価レベルは表-31に示すとおりであり、評価は調査回ごとに最も低い項目別評価ランクをその地点のその調査時の総合評価ランクとしている。1年間の調査時の総合評価ランクのうち、年間を通じて最も頻度の高かったランクをその地点の年間の総合評価ランクとしている。

表-31 「人と河川の豊かなふれあいの確保」の評価項目と評価レベル
(赤枠内は住民と協働調査)

ランク	説明	ランクのイメージ	評価項目と評価レベル					地域特性項目
			全国共通項目				糞便性大腸菌群数(個/100mL)	
			ゴミの量	透視度(cm)	川底の感触	水のおい		
A	顔を川の水につけやすい (泳ぎたいと思うきれいな川)		川の中や水際にゴミは見あたらないまたは、ゴミはあるが全く気にならない	100以上	快適である	不快でない	100以下	・住民と共に独自に設定 ・文献等から設定
B	川の中に入って遊びやすい		川の中や水際にゴミは目につくが、我慢できる	70以上	不快感がない		1000以下	
C	川の中に入れないが、川に近づくことができる		川の中や水際にゴミがあって不快である	30以上	不快である	水に鼻を近づけると不快な臭いを感じる	1000を超えるもの	
D	川の水に魅力がなく、川に近づきにくい		川の中や水際にゴミがあってとても不快である	30未満		水に鼻を近づけるととても不快な臭いを感じる		

年間の総合評価ランク

地点の年間の総合評価について、全地点数に占める各評価ランクの地点数の割合を、地方別に図-33に示す。

地方により内訳の違いが大きかったが、全国の合計では、Aランクの地点が約26%、A、Bランクの地点を合わせると約72%であった。地方ごとに見ると、東北地方、関東地方を除く各地方では、AランクとBランクの地点が過半数を占めていた。

【人と河川の豊かなふれあいの確保】

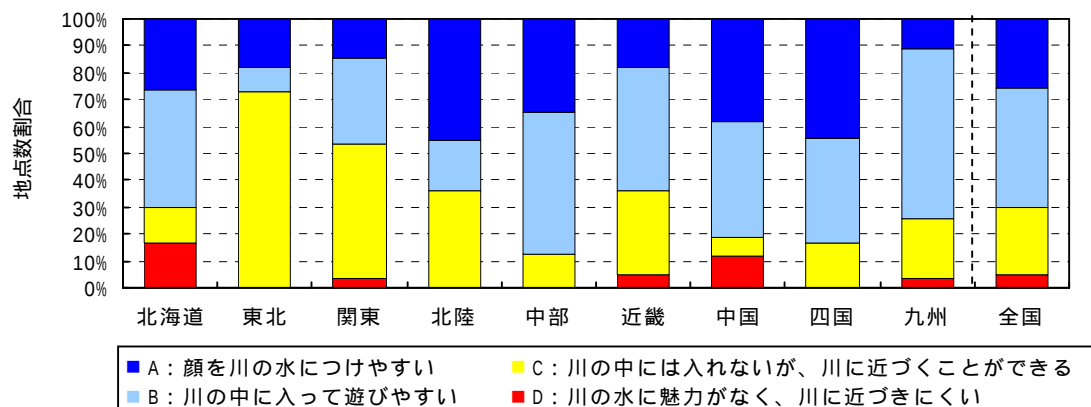


図-33 年間の総合評価ランク別割合（人と河川の豊かなふれあいの確保）

年間の評価項目評価ランク

5つの評価項目それぞれについて、全地点数に占める各評価ランクの地点数の割合を、地方別に図-34に示す。

Cランク以下と評価された地点の割合に着目すると、地方ごとに傾向が異なっていた。北海道地方、東北地方、関東地方、北陸地方は透視度がCランクを下回る地点が多くなっている。

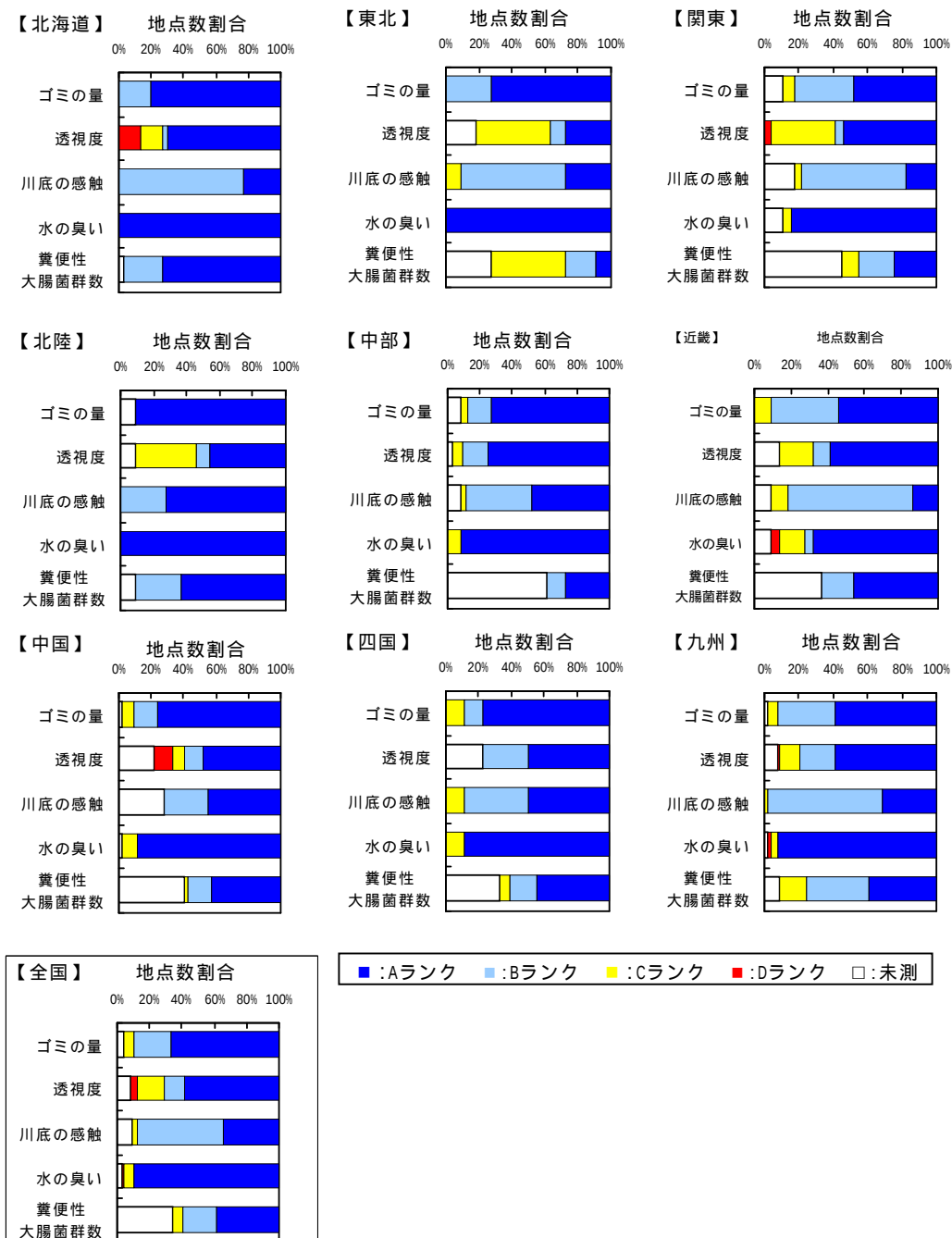


図-34 年間の評価項目のランク別割合（人と河川の豊かなふれあいの確保）

(6) 「豊かな生態系の確保」

評価項目と評価レベル

「豊かな生態系の確保」は、動植物の生息や生育、繁殖といった、河川の健全な生態系を確保する上で、河川水質が満たすべき機能を評価するための視点である。

評価項目として、「溶存酸素(DO)」「アンモニア性窒素(NH₄-N)」「水生生物の生息」の3つが設定されており、このうち水生生物の生息は、住民と河川管理者とが協働で調査する項目である。

各評価項目の評価レベルは表-32に示すとおりであり、評価は調査回ごとに最も低い項目別評価ランクをその地点のその調査時の総合評価ランクとしている。1年間の調査時の総合評価ランクのうち、年間を通じて最も低かったランクをその地点の年間の総合評価ランクとしている。

表-32 「豊かな生態系の確保」の評価項目と評価レベル
(赤枠内は住民と協働調査)

ランク	説明	評価項目と評価レベル			地域特性項目 当該河川・地点の特性や地域住民のニーズに応じて独自に設定
		全国共通項目			
		DO(mg/L)	NH ₄ - N(mg/L)	水生生物の生息	
A	生物の生息・生育・繁殖環境として非常に良好	7以上	0.2以下	・きれいな水 ・カワゲラ ・ナガレトビケラ等	・住民と共に独自に設定 ・文献等から設定
B	生物の生息・生育・繁殖環境として良好	5以上	0.5以下	・少しきたない水 ・コガタシマトビケラ ・オオシマトビケラ等	
C	生物の生息・生育・繁殖環境として良好とは言えない	3以上	2.0以下	・きたない水 ・ミズムシ ・ミズカマキリ等	
D	生物が生息・生育・繁殖しにくい	3未満	2.0を超えるもの	・大変きたない水 ・セスジユスリカ ・チョウバエ等	

年間の総合評価ランク

地点の年間の総合評価について、全地点数に占める各評価ランクの地点数の割合を、地方別に図-35に示す。

全国的にAあるいはBランクである地点の割合が高く、全国の合計では、Aランクの地点が約52%、A、Bランクの地点を合わせると約90%であった。地方ごとに見ると、全ての地方でAランクとBランクの地点が過半数を占めていた。

【豊かな生態系の確保】

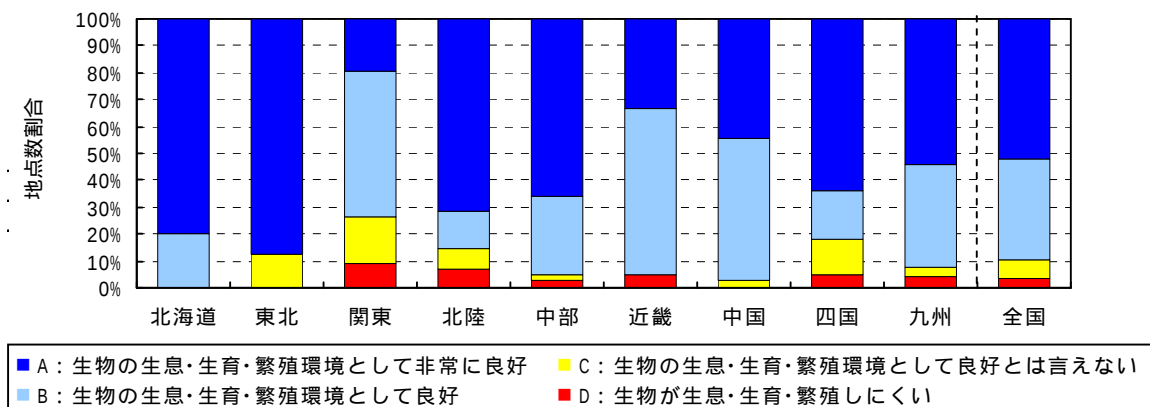


図-35 年間の総合評価ランク別割合（豊かな生態系の確保）

年間の評価項目評価ランク

3つの評価項目それぞれについて、全地点数に占める各評価ランクの地点数の割合を、地方別に図-36に示す。

全国を合わせてみると、DOは測定を行った約91%の地点でAランクであった。NH₄-Nと水生生物の生息は測定を行った約90%以上の地点でBランク以上であった。地方ごとに見ると、関東地方はNH₄-N、がDランクである地点の割合が多い。

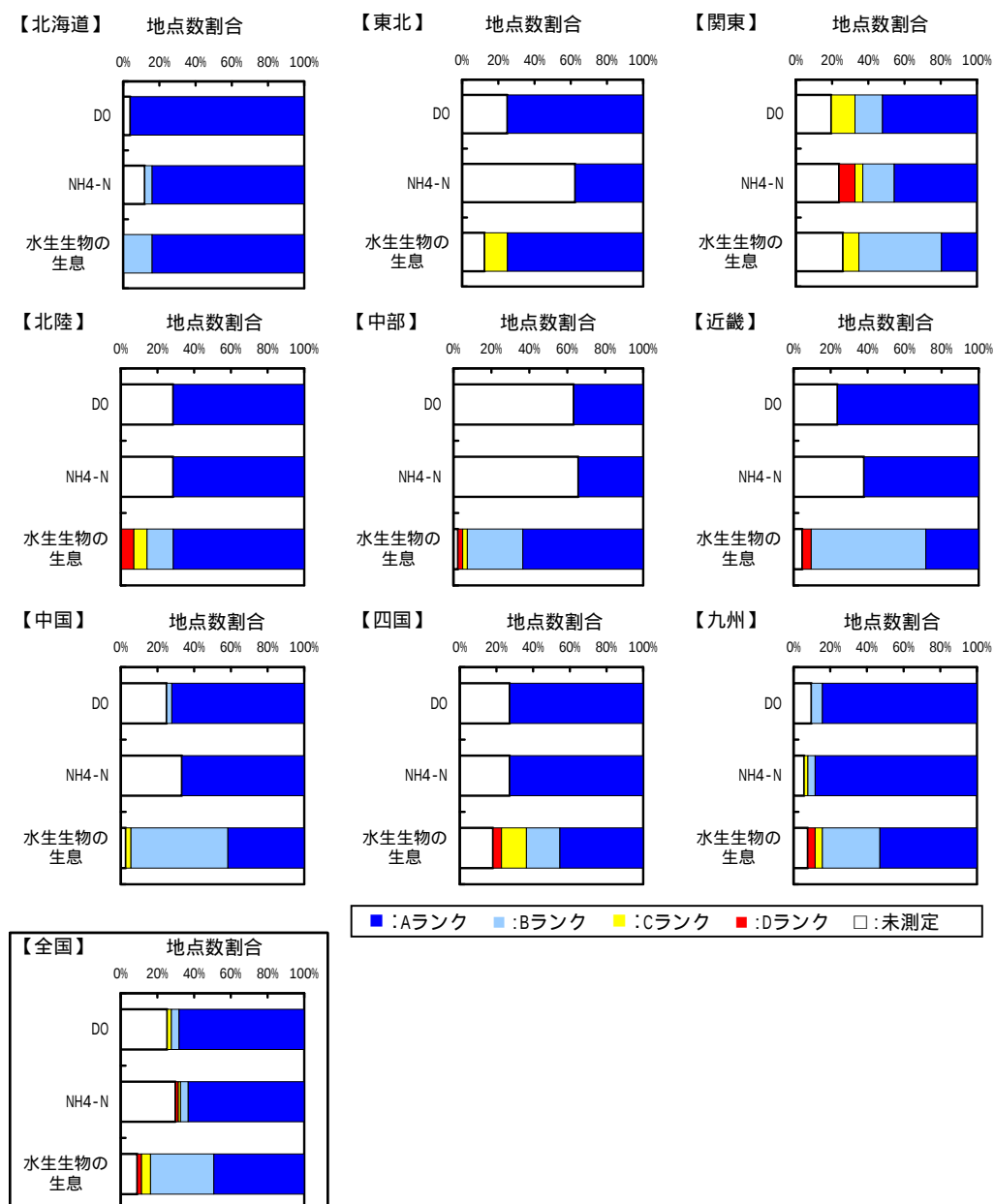


図-36 年間の評価項目のランク別割合（豊かな生態系の確保）

(7) 「利用しやすい水質の確保」

評価項目と評価レベル

「利用しやすい水質の確保」は、現状において特に水質的課題が顕著である「上水利用」に注目し、安全性や快適性、維持管理性（浄水処理管理）といった、河川水質が確保すべき機能を評価するための視点である。

評価項目として、「トリハロメタン生成能」「2-MIB」「ジオスミン」「アンモニア性窒素(NH₄-N)」の4つが設定されている。

各評価項目の評価レベルは表-33に示すとおりであり、評価は調査回ごとに最も低い項目別評価ランクをその地点のその調査時の総合評価ランクとしている。1年間の調査時の総合評価ランクのうち、年間を通じて95%値に該当するランクをその地点の年間の総合評価ランクとしている。

表-33 「利用しやすい水質の確保」の評価項目と評価レベル

ランク	説明	評価項目と評価レベル				
		全国共通項目				地域特性項目
		安全性	快適性		維持管理性	当該河川・地点の特性 や地域住民のニーズに 応じて独自に設定
		トリハロメタン 生成能 (μg/L)	2 - MIB (ng/L)	ジオスミン (ng/L)	NH ₄ - N (mg/L)	
A	より利用しやすい	100以下	5以下	10以下	0.1以下	文献等から設定
B	利用しやすい		20以下	20以下	0.3以下	
C	利用するためには高度な 処理が必要	100を超えるもの	20を超えるもの	20を超えるもの	0.3を超えるもの	

年間の総合評価ランク

地点の年間の総合評価について、全地点数に占める各評価ランクの地点数の割合を、地方別に図-37に示す。

全国的にAあるいはBランクである地点の割合が高く、全国の合計では、Aランクの地点が約68%、A、Bランクの地点を合わせると約91%であった。地方ごとに見ると、全ての地方でAランクとBランクの地点が過半数を占めていた。

しかし、関東地方ではCランクの地点の割合が他の地方に比べ大きかった。

【利用しやすい水質の確保】

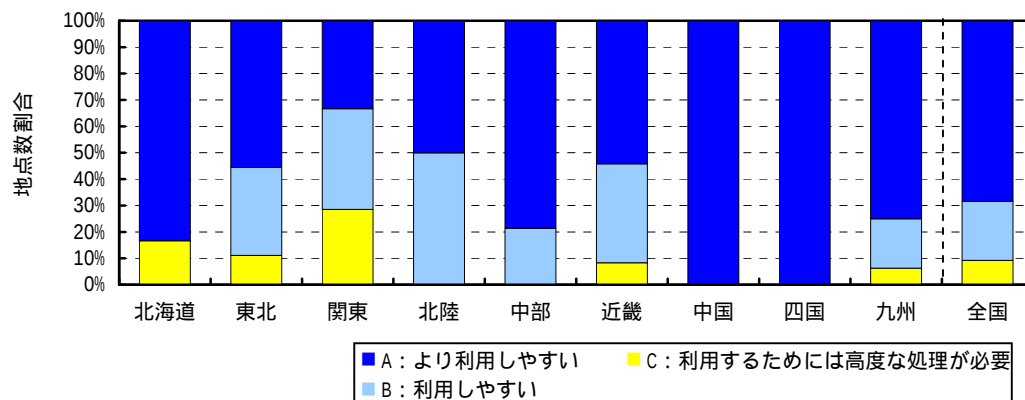


図-37 年間の総合評価ランク別割合（利用しやすい水質の確保）

年間の評価項目評価ランク

4つの評価項目それぞれについて、全地点数に占める各評価ランクの地点数の割合を、地方別に図-38に示す。

全国を合わせてみると、トリハロメタン生成能は約96%、2-MIBは約90%、ジオスミンは100%、NH₄-Nは約76%の地点でAランクであった。地方ごとに見ると、東北地方はNH₄-NがCランクである地点の割合が多かった。

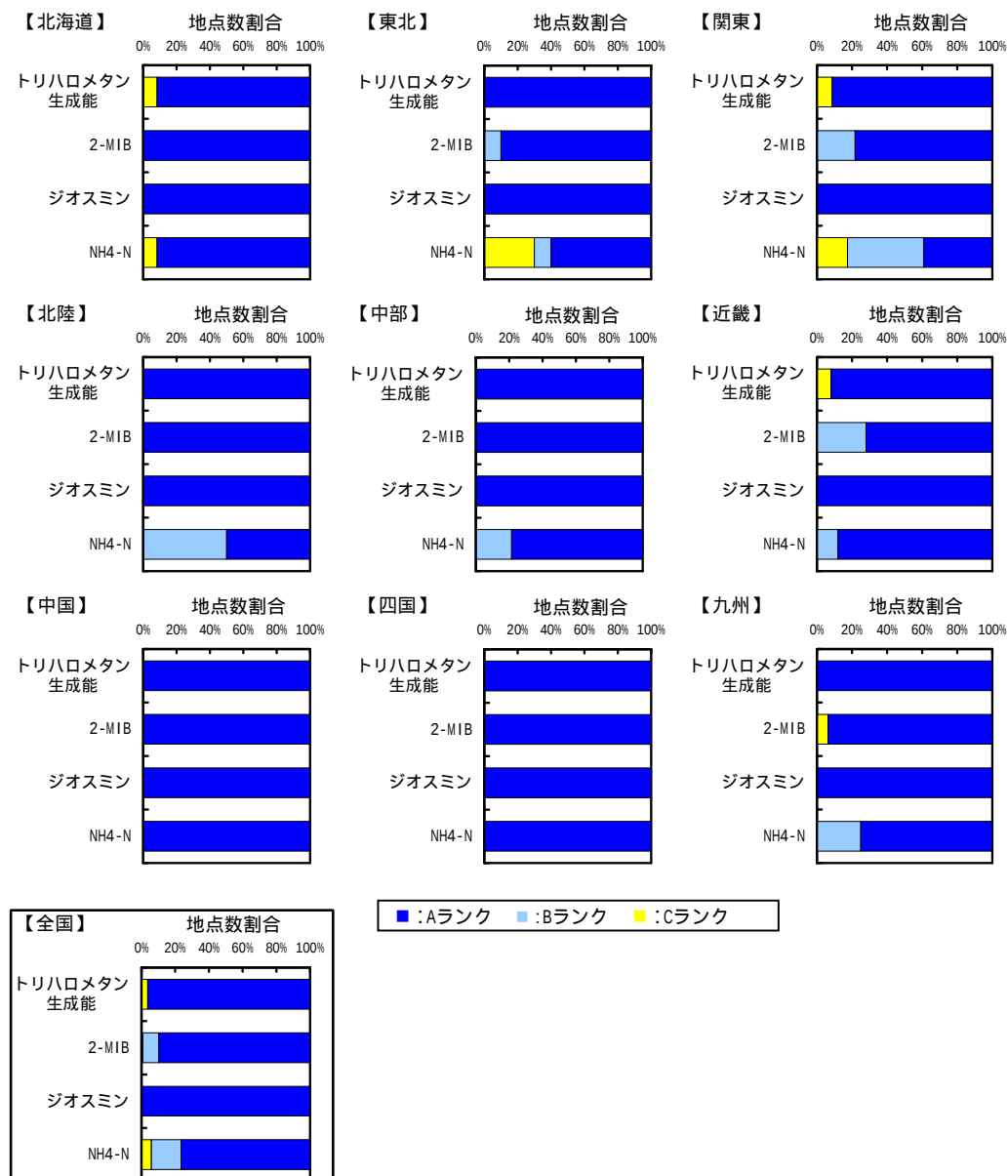


図-38 年間の評価項目のランク別割合（利用しやすい水質の確保）

(8) 「下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保」

指標項目

「下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保」は、河川の下流域、特に閉鎖性水域などの滞留水域の富栄養化を意識した水質管理を行う視点で設定されており、富栄養化状態を直接的に表す「総窒素（T-N）」「総リン（T-P）」を指標項目として設定している。

なお、一般的に滞留水域の水質と滞留水域に流入する河川の水質は異なり、現状の知見では、下流域へ影響を与える河川水質濃度を評価することは困難であることから、「下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保」の視点では、評価項目、評価ランク及び評価レベルは定めず、今後の課題としている。

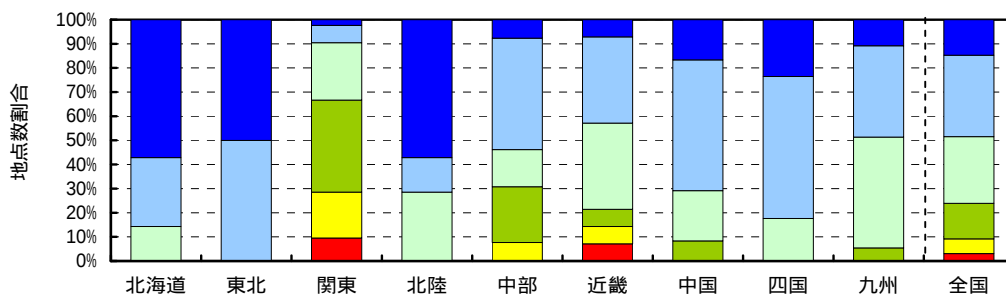
年間の地点平均値の濃度範囲

地点のT-N、T-P年平均値について、全地点数に占める各濃度範囲の地点数の割合を図-39に示す。

T-Nは、全国を合わせてみると、約48%の地点が年平均値1mg/ℓ以下であった。地方ごとに見ると、関東地方、近畿地方、九州地方以外の地方では1mg/ℓ以下の地点が過半数を占めていた。逆に関東では、1mg/ℓ以下の地点は約10%であり、約29%の地点が3mg/ℓを超えていた。

T-Pは、全国を合わせてみると、約44%の地点が年平均値0.05mg/ℓ以下であった。地方ごとに見ると、北海道、東北地方、北陸地方、四国地方では0.05mg/ℓ以下の地点が過半数を占めていた。

【T-N】



【T-P】

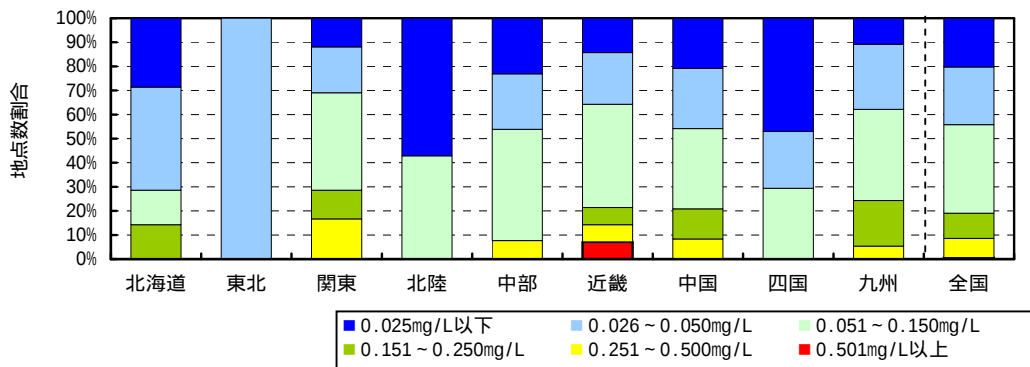


図-39 年間の地点平均値の濃度範囲別割合
(下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保)

新しい水質指標の調査として測定された調査データのみを対象